京城日報
本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金壹圓廿五錢
廣告料金
發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
發行所　京城府太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話長六千九番・六番　振替京城三〇〇番

京城日報

金剛探險隊歸る

八月二日京城を出發したる本社の金剛探險隊は、具に山嶽の險を冒し、十七日間に亙れる日の艱難を嘗め、十七日を以て夕刻恙なく歸還したり。之を南大門に迎ふれば、一行七人皆多少の面窶れを呈すれども、而も不屈の氣魄は眉間に凛たるあり。堅き握手に無限の感動を寫して其成功を壽ぎたり。

出發より歸還まで十六日の間に於て、荒れ模樣の天候に入山を阻まれて空しく一日を長箭に費し、跋渉六日の後、前途の準備の爲一日を溫井里に過し、探險終了の後、旅行の始末と整理とに一日を長安寺に送りたる外十有三日間の天幕旅行に前人未到の嶮を踏破して、金剛山探勝上に新發見をなし、從來の一大革命の局面を捲起し、從來世上に喧傳せられたる壯觀をして、顏色を失はしむる大觀壯景を鎖したる神秘の帷を切り落せし我が探險隊は實に空前の成功を遂げたるなり。金剛の萬貳千峰の山嶽神秘の開拓は我社をして永く仙境披拱の壯擧を擧はしむるに到れるなり。

山中郵遞の便、乏しく探險隊員の苦心になれる通信と寫眞と繪畫とは、到着の順序甚だしく前後したるのみならず、隊員既に歸來して後迄の郵便物は尚未著のもの多し、從つて新發見の大觀壯景も未だ讀者の面前に展開するを得ざるは遺憾に耐へざれども、目睹體驗の社員は既に歸來して社中にあり。今日以後漸次、通信、寫眞、繪畫を整理し日々の紙上に發表せん。幸ひに之を一讀せば讀者必ず探險成功の決して自家公什にあらざるを看取せん。本社の支辨せる探險費の如きは固より問ふに足らざれど、最初の見込を超過して數倍の額に上れり。然れども此探險の結果の世間に公認せらるゝの日到らば、世人は偉大なる發見に對して其費用の頗る低廉なるに驚くべく。本社も亦此東洋無雙の景勝を太古の秘境より引き出して人界に紹介したるの大業に顧みて、聊か新聞紙の使命の一面を果し得たるの滿足を覺ゆるなり。

神仙峽、桃源峽、青鳳峽、京口石門、九仙瀑、玉不知の瀧、翠雷瀧、摩尼瀑、羽衣瀧の如きは今回の發見中の絶景物にして、隊員により新に命名せられたる物なり。之を人間相識の領分内に就て細へば、全く今回の探險によりて新たに世界に生み出たりと稱するも過言には非ざるなり。

溫井里に於ける金剛案內の權威たる阿部莊次郎氏、長箭の金剛通を以て其名を知らるる泉谷要三郎氏は、我探險隊に加はりて行動を共にせられたるが、孰れも『今回發見の諸景を觀れば從來の金剛諸景は殆ど顏色なしや』との歎聲を漏らせり。以て今回探險の結果の果して如何なるものなるかを判するに餘りあらん。唯憾むらくは目下、樵路其徑も之れに通ずるなく、死生の巷に往來するの覺悟をなさざれば、之れに近づき難きの一事なり。地方廳の資源を以てしては到底道路開鑿の重きに堪へざらん。滿鐵が其營業政策の一として之に任ぜんこと最も望ましき所なるが。總督府も亦相當の顧慮を與へらるゝに到らんことを切望す。

溫井里駐在所の佐藤巡査部長、高城警察の關口警部補、大隈森林主事を始め、長箭港の有志諸君、溫井里ホテルの主人其他の人々の援助周旋は探險隊の成功に非常なる力を與へたり、本社の感謝して已まざる所なり。特に阿部、泉谷兩氏が其精通せる所を披瀝して懇切に嚮導せられたるは獨り本社の爲に感謝するのみならず、滿鐵の讀者を代表して感謝の辭を吝まざる所なり。滿鐵の厚意により特派せられたる前田氏の勞は謝するに辭なし。成瀬畫伯、淺輪君、陣内君は皆各其目的を有せしも、始終一行と喜憂を共にせられたるは本社の感佩する所なり。本社特派の武井、光永、田邊三君の功勞は固より謂ふを須たざる所なり、事は社内の私事に屬す公言せずして可なり。（西岡）

文學と教育（四）
（文學趣味と初等教育者）
京城醫專教授　大内猪之介

人が最も眞實に觸れて其の間一點の虚僞をも許さんといふ場合は、一旦死の巖頭に立つた臨終の時でなければなりません。古來死に關する文學が常に人を動かし、幾年經ても何度讀んでも悲哀の感に堪へざらしめるのは最も眞實に觸れてゐるからであります。演劇に就ても同樣の感があります。佐倉義民傳の悲劇が今尚ほ多數の觀客を呼び忠臣藏の芝居が矢張昔ながらに大喝采を博してゐるのは人が眞實を求めて眞實に觸れるものを喜ぶ本心の表現ではあ[illegible]際帝國[illegible]一座の惣[illegible]しありまし[illegible]の地も除さぬ老[illegible]の人々が惣五郎の[illegible]するの一齣に涙を絞つたのを見て、今更ながら一種の感激に打たれました。忠臣藏などでもこれと同様に誰しも或る感激に打たれて歸つて來ます。一面には人は元來悲劇を好む心を持つてゐるのだなどと言はれますが、高い觀覽料を拂つて泣きに行くといふのは眞實を求むる心から眞實を得て滿足する

本性が然

らしめるのではないかと思はれます。最もよく知られてゐる德富蘆花の小說『不如歸』を讀まれて浪子臨終の一節に至つたならば、必ず暗涙の滂沱たるに堪へないでありませう。小說だとは知りながら其れを讀んでゐると、眞實を求め得た蘆花一流の名文は必ず斷腸の念を抱かせんでは已まないのであります。由來蘆花の著作が世に出る度に洛陽の紙價を貴からしめるのは全く其の文章が眞摯であつて、眞情流露僞らず飾らざる所に人を動かす點があるからであります。

俳人としては句佛の名を以て聞えてゐる大谷光演伯は多數善男女信仰の木鐸的たる東本願寺の法王でありますが、二年程前愛孃政子姫といふのを芳紀二十二歳で失はれましたが、其の哀絶悲絶の情緒を敍述されて大阪毎日紙上に掲載された『冴ゆる春』と題した一文の如きは讀一讀同情の念に堪へず、ありのまゝに書き去り書き來られた筆致の間から人間如實の感想が沛然と湧き起つて殆ど卒讀することが出來ません。私は幾度もこれを讀んで幾度も泣かされてゐます。文學の才がない者の書いた文章でも

佐久間潜

水艇長の死の間際まで書き續けられた記録や最近崩壞した土中に埋沒した工夫の書いた日記又は遺言やうのものや、さほどの人物でないものが殘した辭世やうのものなども何處か人を動かす所があるのは眞實に觸れた點があるからではありませんか。吉田松陰先生が刑死される前郷里の父母に送られたといふ『親を思ふ心にまさる親心今日のおとづれ何と聞くらん』の和歌などは誰しも親持つ人の心に思ひ當る情緒を言ひ現はされたものである。落合直文大人が病臥中其の愛兒が學校に行くとては

先づ父上

の病床を訪れて容態を見舞はれる姿のいぢらしさに『父上よけさはいかにと手をついてきく子を見れば死なれざりけり。』と詠まれた一吟を誦すると、不治の病に罹つてゐられた先生の眞實哀愁の情念がひしひしと胸に迫つて來て涙を催さずにはゐられません。畢竟文學の要締は眞實を求むるの心にあると申して良いので眞實を最も良く現し得た文學ほど人を動かすものであるといふ一斑がお分りになつたらうと思ひます。

普通學校國語讀本や高等普通學校國語讀本の中にも文學的教材を増加し其の他の教材をも文學的に記述されたいといふ希望が

實際教授

者諸君其の他からも提唱されてゐるやうですが、今や其の希望の酬いられる時機に達しつゝあるものと思はれます。國語はこれを實際的用途に資するに止まらず追々進んで來ては文學趣味涵養の基礎となすべきことは自然の趨勢であつて獨り小學校教育に於けるのみならず、普通學校に於ても此の點に留意し朝鮮人に對し、物質的生活より超越して精神的欲求に其の趣味を見出さうとするやうな餘裕のある態度を有せしむる素地を馴致發成して置くことは教育者諸君の

最も努力

すべき點であると存じます。而して前陳した如く、小學校といはず、普通學校といはず、兒童に文學的趣味を發兗鼓吹させるためには教員諸君先づ自ら文學的趣味を懷き幾分なりとも文學的作物を探討理解し和歌や俳句の如きものに至つては進んで其の創作に勉める位の意氣があつて欲しいと思はれるのであります。殊に文學の進歩は日に月に著しきものがあつて兒童が愛誦する

少年雜誌

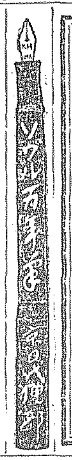
や少年讀物から受ける新文學の影響は兒童の綴方等に際立つて顯はれてゐるに係らず教員諸君が依然として舊時代の古い思想を以て新文學推移の傾向に沒交渉であつては負うた子に教へられて淺瀨を渉り兼ねることになりはせんでせうか、乃ち眞實的な内面的な新文學の眞情に就ては不斷の注意を惜まれないやうに致したい。國語教授者の資格としても和歌殊に新派の和歌俳句殊に新派の俳句や現代の小說に對して一隻眼を有してゐて、相當の御研究を積まれたいと思ふのであります。

福島大將　芳賀博士　笹川學士　題序
赤穗誠忠錄
菊版布製二册千五百餘頁定價七圓特價五圓半送料廿四錢
從來世に喧傳せられたのは、所謂浪劇であり小說であつて、義士の眞面目を發揮したものではない、本書は赤穗義人錄、烈士報讐錄、赤穗四十七士傳等義士に關する古今の書類を博く參考して、虚を去り實について編纂したものである。

東郷大將　佐藤博士、上田博士、棚橋森博士、新渡戸博士、女史　題序
古今孝子錄
菊版布製一册紙數八百頁定價五圓特價參圓半送料十八錢
明治の元勳伊藤公爵、賴山陽、近江聖人、二宮金次郎、鹽原太助、乃木將軍と孝行兵士、小楠公、黑田侯爵と孝行車夫、曾我兄弟、田宮坊太郎、宮城野信夫等、血あり、涙あり、武あり、勇ある孝子中の孝子である。

湯原女子高等師範學校長　三輪田　下田　鳩山　女史題序
古今名婦錄
菊版布製一册紙數八百頁定價五圓特價參圓半送料十八錢
本書には四十餘頁の口繪と北條政子、春日局、小紫、高尾、八百屋お七、袈裟御前、淀君、小町、天理教祖、奥村五百子、乃木靜子等五十餘名の名婦の傳記を網羅した家庭好讀物
東京九段飯田町　通俗教育普及會　振東二五五〇三

▲圖書頒布員募集　收入多大履歴書送れ詳細規則一部送る　十圓にて書籍一揃　至急申込を要す　通俗教育普及會



實業之日本

太平洋會議に對する實業家の注文如何
△太平洋會議は一の觀察也……武藤山治
△米國の主張すべき點……神戸學一
△國の提唱すべき問題は是……白石元次郎
△先づ米國自身の軍備を去るべし……井上雅二
△吾が國の提唱すべき前提問題……伊東米次郎

太平洋會議の由來と協定私案……著月小太郎

白木屋重役交迭物語……鳳翠

信仰に生くる典型的實業家……五十嵐峰生

世界的發明電氣時計……雲峰

幹部組織に關し米國に於ける…を評す……武藤山治

▼現代人の…なき現代人……有村介石
▼〇派の印象と五色の顏……伊東工學博士
▼旅行する時の評判記（朝鮮古日本）……蓬谷町人

道德的能率の增進を叫ぶ
モーラルエフィシエンシー
…紀綱弛緩道義頽廢の今日、興國的活力に甦らしむるものは即ち是れ……社長　増田義一

多忙生活可否
心理學上より見たる目まぐるしい樣な多忙の生活は果して可か？否か……帝大教授文學博士　松本亦太郎

若返り法を受けんとした余が理由
…若返り法の手術を受くべく遙々九州大學まで行つた理由と、其の感想を錄す……渡邊霞亭

乘鞍山頂の天幕生活
…地平ボートと天幕を抱へて乘鞍山頂に生活した痛快極まる記事……子爵　岡部長景

猶太人の解剖……田原禎次郎

▼夏の日光を充分に浴びよ……醫學博士　G・H生
▼世界を股にかける人々

財界下半期の豫測……東京瓦斯會社取締役　渡邊四郎

株値から見た新設會社の内容……芳水
＝白山水力、大日本製紙、北海道製麻、國活＝

生絲市況前途……北斗生
▼躍起した電力株

石炭から石油を取る法……蕊亭

八月十五日發賣　定價五十錢一冊　郵税二錢　半年二圓六十錢　一年五圓　東京　實業之日本社　振替東京三二一

主婦之友　九月號

死線を越えた女

▲死線を飛び越えて戰つた若き婦人の血と涙で綴つた告白記事を發表
▲眞劍生活の赤裸々なる告白にて小說よりも面白く而も活教訓に滿つ

自殺を企てた若き婦人の告白

◎夫と姑の爲に毒死を企てた私が今は廿萬の女分限者……（梅子）
◎死ぬより外に道の無かつた苦境から現在の幸福まで……（薰子）
◎水死を覺悟した私の汚れた過去と復活後の樂しい現在……（久子）

自殺者の僞無き告白

怨みと感激に繪筆を捨てて家運再興へ妙齡の女仲買（銀子）
一家沒落の悲運のドン底から憤起し妙齡僅か十七歳で男裝をして活動す

◎婦人自殺論……文學博士　谷本富
◎若返法秘訣……吉岡彌生　跡見花蹊
◎肺病養生法……醫學博士　原榮

『死線を越えて』の著者
賀川氏夫妻を貧民窟に訪ね

小說『死線を越えて』が一般讀書界、殊に教育ある若き女性の間に愛讀されてゐることは世間周知の事實です。文士でもない賀川氏の作が斯くまで歡迎されるのは何故であるか。それは賀川氏自身の獻身的生活が赤裸々に發表されてゐるからです。その純眞にして感激的な性格が若き人々に喜ばれるのです。併し『死線を越えて』に現はれた賀川氏夫妻の生活は其全部ではありません。其の後の賀川氏夫妻の生活こそ、世の多くの人々の知りたいと願ふところであります。本誌九月號には特派記者が彼の神戸の勞働爭議の最中に、其大立者として活動してゐる賀川氏夫妻を訪ねて、其の後の生活を詳細に發表しました。一躍して文壇の寵兒となり、一方では勞働運動の一人者となつても、昔と變らず貧民窟の陋屋に貧しい生活を續け依然として弱き者の友、貧しき人の伴侶として働いてゐます。其の周圍にある血のにじむやうな哀話や、人情の底を流るゝ美談やロマンスも詳細に發表されました。

◎不眠症は何うして治すか……高峰學士
◎白髮染かぶれの豫防と療法……風間女醫
◎女名人傳（其四）佐藤あき女……松田鎮子
◎狹い臺所を廣く使ふ設備……本誌記者
◎日焦の手入と化粧の仕方……葉末子
◎（寫眞鑑定）婦人の運命判斷……船井梅南

借家人の慘狀告白
▲子持には家も貸さない冷酷な社會……（ゆき子）
▲趣味に附込む横暴なる悪家主……（珠子）
▲家主から追立られた借家人の悲哀……（き子）

◎素人製作の上品な卓子掛……藤井達吉
◎（科學小話）颱風は何故起るか……國富信一
◎洋服生活の便利と經濟……齋藤歌子
◎（表情遊戲）噴水……土川五郎
◎食慾を進める夏のお惣菜……懸賞當選
◎涼しい手輕な客膳料理……齋田夫人

大評判の讀物
諧謔小說　珍太郎日記……佐々木邦作（近藤浩一路畫）
◎海外小說　嘆ける曙（英國文壇に於て非常の成功を收めたる此小說は我が讀書界に於ても忽にして天下の子女を熱狂せしむ）……三上於莵吉譯（初山滋畫）
◎長篇小說　燦く星（戀に破れ病に苛まれた初枝は死の外に撰むべき途は無い。死線に立つ彼女の爲に泣かぬ者があらうか）……渡邊霞亭作（渡部審也畫）
◎探偵小說　埋れ木（白金の怪しい家の一室には若い西洋婦人が押籠められてゐた。これには何か大きい秘密がありさうだ）……岡本綺堂作（稲恒春畫）

本誌獨特の内容を極度にまで充實させたもので一册僅かに定價金四拾錢（送料二錢）（半年分二圓六十錢　一年分前金五圓）
東京神田表神保町　振替三三七八六番　主婦之友社

支那會議前に日本と

直接交渉を希望

漸く日本に信賴す

【東京電報】最近支那政府部內にて山東直接還附交渉論を傳ふる者漸く多くなり而も此議論は今回小幡公使赴任と同時に次第に濃厚となりつゝある形勢となり來れり元來直接交渉は徐大總統を始め靳總理顏外交總長等は何れも個人としては贊成を表しつゝあり然し平和會議に出席して排日氣分を宣傳しつゝある王正廷一派は種々の意見を構へ之を理由として排日運動を鼓めんとしたるものにて來るべき國際會議に提議すべしと稱しつゝありしが米國政府は太平洋會議開催と同時に同問題を提議すべしと稱する者あり然し最近太平洋會議の議題が制限さるゝに及び所謂志士は憤然として之に反對し之れ支那をして各國の共有地たらしむるものなり若し斯の如き提案ありたる場合は支那は日本に援助を求めて反對すべしとの意嚮を有しこれが爲め山東問題の如きを以て日本と確執するは外交上の得策に非ずとする者生じ山東問題は太平洋會議前日本との間に直接交渉を開き解決を遂ぐることは日支兩國の爲め好都合なりと稱する者生じ來り更に日本は太平洋及び極東問題に關しては支那政府に政治經濟の發達を促すべく積極態度を執らんとする態度漸く判明となり來れるに就き支那の有力者をして漸く日本に信賴するの念を抱かしむるに至りたれば來るべき太平洋會議に當りては日支兩國は或種の諒解を得ることゝなるべし支那側にては太平洋會議前に山東問題直接交渉を開くべしと說く者あり而して米國は山東問題直接交渉を可とする旨支那政府に注意し居れりと聞く

國際管理案に憤怒し

支那親米熱冷却

米政府取消に苦心す

【東京電報】支那を國際管理下に置かんとする提議は亞米利加商務長官フーバー氏により一個の私見として之を新聞に發表せしめ以て支那及日本の輿論の趨向を破らんとする手段をとりたるが此報の一度極東方面に傳はるや支那政府及び國民は擧つて之に反對し日本も亦支那同樣反對の輿論を惹起せるが之を見て米國は寧ろ一驚の觀あり蓋し亞米利加政府は其部內に於て眞面目に支那の國際管理につき研究の步を進め或は之を太平洋會議に提案の意あり先づ日支兩國の意向をさぐるため前記の手段をとりたるに計らずも支那の憤怒を買ひ從來の親米熱は之がため一朝にして冷却せしより最近米政府はこれが取消しに苦心しつゝあるは氣の毒なる程にて半官紙を通じて右は日本の有する提案なりと宣傳せしむるなど其の苦慮察すべし

支那國際管理計畫を

米公式に否認す

【華盛頓十六日發電】米國務省は支那に對し國際管理委員を組織せん事を協議中なりとの報道を公式に否認せり

米政府斷じて

三國同盟に應せず

【華盛頓十六日發電】當地にて伝聞する所によれば英國政府は華府政府の一意見として從來の日英同盟に代ふるに日英米三國同盟を成立せしめん事を希望し居り英國より米政府に對して提議を入れたるも米政府が斷じて斯くの如き提案若しくは之に似たる提案に耳をかさゞるは疑ひなき所なり

軍備制限會議に關する

米國支出百萬弗

【華盛頓十六日發電】軍備制限會議に關する米國の支出は百萬弗に上るべし此內先づ二十萬弗だけの支出を要求せられしもなり

佛首相出馬回答

【巴里十六日發電】佛國は軍備制限會議に關する正式招待狀に對し承諾の公文を米國公使に手交し首相ブリアン氏自ら出席すべしと云へり

華府會議に對抗

勞農政府の意氣込

ロッヂ氏委員を辭せん

【華盛頓十六日發電】大統領ハーヂング氏は上院議員ロッヂ氏を軍備縮小會議委員に選びたるがロッヂ氏は委員長ヒューズ氏の下に働くを潔しとせず右任命を拒絕すべしと解せらる

支那代表の準備

【上海十六日發電】太平洋會議に派遣の支那特使一行は十月上旬出發の豫定にて顏總長は既に外交部に用意を命ぜり駐米施公使よりは代表一行の宿舍借入契約をせる旨報告せり。徐大總統は顏總長に對し各方面の名望家を網羅し各機關の專門家を加へ人選を完全にし曩の巴里會議に於けるが如く種々の不便に會せざる樣せよと訓示せり

國際財政會議を

軍備制限會議と同時に

【紐育十五日發電】米國大藏省當局に於ては軍備制限會議の開會中華盛頓に國際財政會議開催の議ありしが未だ判然たる具體案出來し居らず併し國際交換貿易の不動搖極まりなきを救ふため國際手形交換所を設くべしとの意見にあり

華盛頓財政會議は消か

【華盛頓十六日發電】華盛頓會議を擴張して爲替相場に關する國際的財政問題をも議する事とすべしとの議あるも米政府は之に不贊成にして斯く政治問題に財政問題をも混同するは不可なりと思惟し居れり

愛蘭妥協の意なし

デヴアレラ氏の演說

【ダブリン十六日發電】愛蘭假大統領デヴアレラ氏はデレリヤ會議の席上に於て演說して愛蘭人民の承認すべき唯一の政府はデレリヤなり愛蘭は英國より完全に分離せん事を要求すべしと反覆演說せり右演說は妥協の意なき事を率直に表明するものなりと

英國歸休兵愛蘭歸營令

【倫敦十六日發電】愛蘭より歸休中の英軍兵卒は至急歸營すべき旨命ぜられたり

英佛間懸案と解決聲明

【倫敦十六日發電】首相ロイドヂョーヂ氏は下院に於て演說し英佛間各種の問題は今や滿足に解決されたりと言へり

國際救露運動

【東京電報】八月五日ゼネバに開會の萬國赤十字社總會に於ける委員は一の聲明を發表し國際各國政府慈善團體に對して目下露國の窮狀を救濟する目的を以て國際救濟機關を設置し各國政府了解の下に勞農政府の承認を求めたる上勞農兩方面より救濟事業に着手するの必要なるを明示し之を各國政府及び各團體に要求する事にせり

米國失業者五百七十萬

【華盛頓十六日發電】農商務省の發表によれば目下米國に於ける失職者の數は五百七十三萬五千人に上れり

マダガスカルに

佛の海軍根據地

【倫敦十五日發電】佛國は再び新しく屬したる印度洋艦隊のためにマダカスカルに海軍根據地を設くるの計畫なりと報ぜらる

國際海防會議 議題

【電報】國際海防會議は去る十二日白耳義ブラッセルに於ける會議は既に終了したるも其の經過に關しては未だ公表なし日本海防會に對し右次回の議題に關し通牒ありたり海防會議幹事松波博士は中京商業會議所に對して左の事項に關する會議所の意見取纏め方を要求し來れるを以て同會議所に於て近く審議の上回答する筈なり

一、國際海防會の次回議題を示さる、題目如何

二、目下各國代表者よりなる國際會議に附議中の船舶所有者の責任制限並に船舶の先取特權及び擔保權に關する條約の規定に改正を加ふる用なきや

三、船舶業務の船舶所有者の組織に關して國際的審議を興ふ

井上正一氏は今次鐵道聯隊長に、宮川平壤電氣社長及橋田同支配人訪問し前後の協定を試みつゝあり

平壤經濟狀況

レニン改宗の內情

飢饉救濟の一策よりか

【東京電報】勞農政府首腦レーニン氏が年來把持し來れる共產主義を拋棄したりとの報道は今春歐州及米國方面に傳へられ今次又々同樣の報道あり右はレーニン氏が共產主義を實行したる結果農民は穀物をより多く生產するも其の生產物は沒收せられ豐作の農作物は結局自己の生活を支へ得る程しか支へられず殊に其の生產物に對する監視方法頗る嚴重にして耕作者が余分に收得するが如き行爲する場合は嚴重なる處罰を受くるを以て農民は努めて豐作を期待せざるに至りたる爲め耕地は荒廢狀態にあり今次の饑饉の如きも畢竟之が其原因の一なるより勞農政府は其の政策を改め饑饉救濟の一策として農產物の強制沒收を廢止し農民の耕作を奬勵する方法をとるに至りしもの、如く結局レーニンの共產主義拋棄はそれより出でたるものならんか

……るや否やを講究するを適當とすること右三項にて目下英帝國會議に遲延の報告書は明かに國際の方針に依つてのみ之が滿足なる効果を發揮すべき問題なりとて海防會の注意を喚起するもの、如し

……きかを決するため九月に入り會し第四十五議會召集迄には去就を決する筈なるが上山阪本北條三氏は從來の如く純無所屬に止むるも茶話會に投ずるも上院に於ける地位に大差なしとの意見を懷くもの、如く或は交研團體たる諒解を得て上院に於ける委員の分配を受け現場を維持するにはあらずやと

湖北和議を拒絕

【上海十七日發電】湖南の張宗陽は代表を湖北に派し和議を申込みしも拒絕せられたり

湖北軍總攻擊開始せん

【上海十七日發電】湖北軍は近く總攻擊を開始すべしと

鮮鐵委任經營

納附金減少にて折合はん

【東京電報】目下懸案となり居れる鮮鐵委任に關しては早川滿鐵社長渡鮮前原首相と種々會見して談合し次で途中京城に寄り朝鮮總督府側の意見を徵するに先來鮮鐵委任經營に關して齋藤總督と會見交涉せるが納附金は朝鮮の財政に影響あるを以て齋藤總督は更に中央政府と交涉の上決定する事となるべし今納附金に關する總督府側の意見を徵するに元來鮮鐵の建設並に改良費は全部公債に財源を求め居り公債利子は年五分五厘見當なるが右支拂に充つべく鮮鐵投資額に對し六分の納附金を契約せる次第にしてこれ以下に減する時は他の收入によりて利子を支拂せざるべからずと云ひ滿鐵側はこの事情を當と認め六分の納附を應諾せるが扨て委任經營の結果幹線に於ては多少の利益を見るも支線は收支償はず併も全然營業に至らざる新線に對して迄納附金を供する事となり居りこれがため損失を招きつゝある狀態なれば投資總額中より不營業線を控除し納附金を算定するか步合を引下ぐるかを要求し朝鮮總督府に於て交涉しつゝある次第にして兩者とも根本に一致し且つ相互の事情も諒解し居れば結局納附金少許の減少にて折合ふ事となるべし

吳光新脫獄す

【上海十七日發電】吳光新は十五日夜脫獄逃亡せり

脫退勅選動靜

現狀維持か

【東京電報】研究會を脫退せる七勅選は暑中休暇に際し茶話會研究會等の同志を糾合し同時に純無所屬の某々氏を拉し獨立團體を組織せんとしたるも公侯爵議員は問題の要決には同一行動に出でんも團體加入は不可能なる事情あり到底目的を達し難きにより岡田良平、松室致、平井晴二郎、上山滿之進、北條時敬、阪本釤之助、前田美治の七勅選は茶話會が多年計畫しつゝある勅選大合同の成立を希望し之が促進を期待し居れども政局に依然變化の兆候なく來期議會の運命を見る研究會が依然好意中立を標榜する時は從つて上院の分野も多少の異動消長は免れざるも大なる變化なきものと認め當分純無……

太平洋會議問題

英國外交の奸策

法學博士　蜷川新氏談

軍備制限は其の目的に於ては如何にも贊成だが然し今日世間で唱導する樣な軍備縮小論は間違つて居ると思ふ。何んとなれば現在我が國の海軍計畫たる處の八八艦隊の單位と米國の殆ど我が國に倍加せる單位とを直に比較して一律に之を減少せんと爲すべしと云ふ此の議論の如きは實に迂愚の論として之を一下に喝破し去りたい。寧ろ我が國は如何だと云ふに現在我が國の單位に比較して倍加せるを以て海軍力は寧ろ減少しても猶ほ優勢である事は數字の上にも明瞭なる事ではあるまいか、斯の如き狀態であるにも拘はらず世間の軍備縮小論者は一律に米國の提唱を迎合するが如き觀あるは其の意を解する事に苦しむ次第である軍備は生存を安全ならしむる爲めに自國の必要上之を置くものであるならば命あつての物種子で人類は何人も自己の生命は惜しいものだから軍備の必要を感せずには居られまい、幸ひ今度開かる、華府會議の結果が如何になるであらうか期待する處であるが何事も對等に同等の條件を以て之に當る事が必要である米國が國際聯盟には自ら脫退しながら今日此提唱を試みて我が國にも招請して來つた事は如何にも勝手氣儘な米國根性が表現せられて居るではないか勿論此の提唱が米國大統領ハーヂング氏に因つて起つたとは云へ其の裏面には英國が後援して大に尻押しを爲して居るからである我が英國人を推賞して紳士であると賞めちぎつて居るが他列國では仲々橫著でズルイと惡口して居る樣だ太平洋會議は英國が首唱となつては我が國等より僣まる、を以て甘く此の呼吸を飲み込んで米國を誘惑した結果である日英同盟の存續のみでは將來支那の保全は期せられない然も日英兩國のみにて依然是れを同盟せば必ずや米國との反感を招來するの恐れあるを以て米國を向ふに廻して敵とするは英國に取りては寔に都合の惡い處であるから此の間の機微を洞察し此の會議を開かしむる動機を作つた英國は實に巧妙なる策だと云はざるを得ない殊に華盛頓に開く前に於て倫敦に於て豫備會議を開くべしと云ふに至つては實に其の外はない是れは英國が華盛頓會議に臨む前に先づ自國の殖民地首領を會合せしめて大體其の意見を取り極めた上で是に當る深謀遠慮より出でたものではあるまいか要するに外交上の辭令にかけては英國なごは實に飛び離れたものだ其れを我が日本は餘んまり正直過ぎて何事も一圖に熱中し過ぎる嫌だ英國でも米國でも國際上の問題に就ては外交當局者と云はず新聞雜誌等の言論機關に於ても皆々平氣で虛構の說を掲げて自國の爲めに都合の好い虫の好い記事を掲げて大に宣傳して居る手際の如きは仲々巧妙なものである英國は東洋に其の野心を伸さんが爲に將來東洋艦隊の增設を企劃せんと試み西蘭土の首領を招致したる事がある斯の如く表面には種々の畫策が廻らさる、が其の眞意に至つては容易に探究する事は至難である我が國民も馬鹿正直は止めて國際問題に自覺して大に輿論の喚起に努めたいものである一體我が國の外交は腰が弱い餘んまり外國に氣兼ねが大過ぎる過般關東洲に於ける金建問題にしてもだ如何に支那人が騷ぐとも斷乎として取り合はない方が好い或者は關東洲は支那の領土である外國であるから其の所有權を彼是云ふものがあるが是は大なる間違ひだ關東洲は勿論日本の領土なりと主張して毫も支障ない國際法上の異議はあるが最近は租借地は自國の領土と稱するも支障ないと云ふ議論が多い自分は斯く信ずる故に關東洲に金建を施行するのは何等違法でないと確信する支那に於いて日本人が銀建は反對だから金建にせよと云ふのことは金銀建つて居る是等は勿論違法である正義の爲めには堂々と問題解決に努めて國際上の問題を解決にするは我が國民の責務であると云ふ（東京支局）

……の際上海二十六萬圓見當なるも內地相場に比し高値にて採算に合はず……漸く伸び惱みの狀態にて……地場出高二萬斤に達し……財界は漸く平調に復し來る……鮮人カールヴオレター……南浦に於ては英露獨三國人の所有地に隣接する……官憲當局の希望に依り……必要に依り府の基本財產に……獨逸人財產入札

十八日朝猛烈なる大風は鎮南浦に於て一時……最大風速七百二十八毛を示め……西北西にして……

朝鮮敎育令

は拓殖局に於ても未だ調査を終り居らず文官任用令に於ても研究中なるが朝鮮敎育令の發布を見るは今秋頃ならん目下鮮人の共學を大體の方針とし居るも本來の言語を異にし居る爲め種々問題とする所あり調査中ならば之れを採るべしと夫より五十日間位費して歸京する筈である

飢民救濟策

は目下研究中なり時に私が昨年の今頃であつたが警保局長として朝鮮國境を視察したことがあつたが今日は昨年と異なり鮮人恐く穩なる狀態ならんが之は表面のみにて鮮人の言ふ實力養成なる言葉には彌々少許へも要すべきは滿洲の鮮人救濟の問題なり滿洲鮮人起るべき問題なり而も之れは當然立したる銀行成立を在留邦人より請願し來りたるが之れは當然運動を速斷し難し更に滿洲に於ても現行制度同樣の組織に依る施行し來りたるが寺內總督時代舊韓國稅制の整理を行ふと共に稅の種別も甚だ單純となり一には制度統一主義に依つて監督局を廢し地方廳に財務部を置き稅務及理財事務に任ぜしめる事とせり而して今日迄何等不便不都合をも感ぜず順調に行はれ來りしが幾に

朝鮮に所得稅

を起さんとする議あるや當局に於ては來年度より之が研究調査に着手したる結果所得稅を起さんが爲めには先づ先決問題として今日の徵稅組織を以て果して之れを行ひ得るや否やを考慮せるに將來漸次複雜とならんとする稅務を處理するには從業員吏に專門智識と訓練とを與ふるの必要ある事勿論にして然るときは財務部より稅務を分離し總督府に稅務監督局を置き稅務監督局をして

徵稅組織變革なし

稅務監督局新設は無根

某當局者談

朝鮮の徵稅組織は當初稅務監督局を置き內地の現行制度同樣の組織に依り施行し來りたるが寺內總督時代舊韓國稅制の整理を行ふと共に……

徵稅を行はしめんとするの議起りしなり然れども是は所得稅の可なり專門智識を必要とすべき稅務の起りたる曉此の組織更新を行はんとするものなれど現在の稅務を以てしては現狀維持を以て充分とすべきにして又組織の更新は治には職員の訓練に一兩年を要しなるべく來年度は諸種の關係にて七八百萬圓の經費を要する事となる爲め施行せず十一年度に於て之を急速には豫備未だ整はざる爲め施行せざる事に決定し十一年度豫算にも之れを計上し居らざるなりに徵稅組織の更新も之れを必要とせざるものなるに拘はらず京城に傳へられし所に依れば總督府は稅務監督局を設置する の意嚮なりと唱へられつ、あれど右は全然誤解にて或は以上の誤傳が流布したるものならんか

高等警察講習

十八日開始

京畿道に於ける高等警察事務に從事する者の講習は豫定の通り十八日午前八時より京畿道會議室に於て開催せり

米作豐作

【東京電報】本年の米作は悲觀說あれども天候恢復の爲豐作となる見込なり

……草案は全文六十四條より成り日支相互に對し極めて公平なる主旨によりて編成されたるものなりと

情報部長任命

【東京電報】十七日左の如く發表ありたり

特命全權大使男爵　伊集院彦吉

命外務省情報部長

商租案協議會

【奉天電報】既報の如く十五日午前十時から總領事館に於ては例の土地商租對案に就き外務省より回送されたる草案を原案として民間關係者たる川本部夫氏、鮎田龍長氏、川村宗治氏渡邊彦司郎氏等を召集し協議會を開催せるが尙引續き來る二十二日も亦協議會開催の豫定なりと

觀察途上の雜感

川村拓殖局長官談

【下關電報】滿鮮支那各地視察の途にある川村拓殖局長官は隨員を隨へ十七日午前九時三十分著列車にて無事下關に著し直に山陽ホテルに入り少憩の上連門午後一時出帆の關釜連絡船にて青島に向ひたるが氏は北九にて新聞記者に語りて曰く

今回の旅程 は青島より上海に至り更に長江を經て漢口北京を經て大連、旅順、奉天に赴き夫より南下して朝鮮を視察し更に進みて長春、哈爾賓にも赴く豫定なり朝鮮の行程に於て

日本の製品が粗製濫造にして高價なりとの聲が各方面より傳はる所なるが是は資本家勞働者共に自覺して製產品を安くすれば兩者共自然に利益を得ると云ふことは同じ人も異存無し併しながら其の實行は極めて困難なる故先づ資本家覺醒して大いに改善を計らざるべからず勞働爭議之れが勞働者側に於ても徒らに歐米勞働者の表面のみを見て此の行動なれば未だ直に彼等の運動を速斷し難し……

東京だより　十三日東京　支局

◆東拓の三部長……納つてる河合部長……蜷川法學博士が前述……の勞働爭議を目の前に親して曰く『困つたものですね外國の勞働者は資本家たる可く騷ぎ紳士たる可く焦つてゐるのだから話が解るが、日本の勞働者は紳士に對して自分等同樣にならうとを捲くれと要求するのですからね……』

◆袁世凱やウィルソンを向ふに廻して笹竹一つで世界を漫遊して卜字小手吞象、其後暫く顏を見せぬと思つてゐたら近頃よく大鞄を抱いて霞ケ關に出入する。『大臣や政務局長ミッイ長話になるものだから……』と日支、日米關係を卜して曰『日英は兌爲澤の九四變にして初め彼れは吾れの爲めに口を背けて親意を表せず同盟國たるの故を以て他の嫉視を顧慮するの餘り一時は表面冷淡の姿勢を避けんとして半ば進み半ば退くの狀あり之を『商兌未寧』と云ふ然れども我れ彼に計ることろもとより正道を失はざるにより其間自ら彼の諒解を得て終に晩秋の候より機熟し來りて隔意なき懇親を結ぶ他の參列國に比して彼我貿商の機振も多く從つて接觸緊きの兆ありとある』

◆日米は天火同人の九三變と題はれ彼我交情至つて公明に……して所の太陽の天上にありて下土を照臨して私なきが如く氣押しくして離れず互に腹臟なく意中を交換して天下の大事を議するの兆であるといふから先づ此分で行けば日米戰爭などは夢かな

◆日支は地雷復の六四で一陽末だ來復せずと雖も從來の關係は良化し、逐日交際圓滿を來す『動則以順』是以出入無疾朋來無咎と云ふに當る而して我は雷の長男にして彼は坤の老母であるから老母は外事の經驗なく老實にしてるので百事長男たる我の意に服することゝなるのだらう尤も角當るも八卦當らぬも八卦、お慰みに披露して置く

融和講演會

東都大學生より成る日鮮青年融和會巡回講演會は豫定の如く十七日午後八時より公會堂に於て開催した聽衆三百餘名其大半は朝鮮青年であつた開會の辭に次いで慶大吉川淺藏氏が歐洲文明の末路と題して登壇した引續き早大新田一郎氏青年乎?(題)早大森本氏朝鮮問題解決の日、終つて早大中村惟民氏が『共存か共滅か』と題して約三十分熱火を吐する如く說き最後に帝朝鮮沼勇氏は朝鮮の青年諸君へと題して諄々一時に涉つて朝鮮獨立の可否を論じ反省を促し午後十一時閉會した同一行は去十四日東京出發後滿洲各地で十數回の講演に其の言ふ所嚴に日鮮融和に貢獻せんと努力した同一行は廿日元山の講演を以て內地歸後の講演會とし歸途大阪にて同樣一回講演し散する由

掩ふからざる事實あるに依つて鮮人に對する敎育は十分愼重に考慮せざるべからず

聯絡船缺航

【釜山特電】關釜聯絡船壹岐丸は十八日朝出港の壹岐丸同夜入港の對馬丸は玄海灘の風波激しき爲め缺航せり

上田師團長延着

新任第十九師團長上田太郎中將は十八日午後七時五十分南大門驛著來城の豫定なりしが十七日關釜海峽の風波烈しく爲に船舶缺航し延著する旨旺司令官より司令部に入電ありたり

……は千葉警察部長の治安警察法其過及理由國友警務課長の警務講演に至り更に近く開催し講演ありこれより先長より講演員一般に對する注意ありたり出席せし講習員約五十名なりき

●十七日付四千三百五十五號は治安に妨害ありと認め京城に於て發賣禁止を命じたり

人事消息

▲山下爵之助氏（京畿局技師）十六日入城滿洲迴り歸任

▲山川五三郎氏（平壤電氣社長）十六日入城

▲深川傳次郎氏（新任仁川府尹）十七日……

▲井川氏（慶南道知事）……

▲森上卯平氏（大東米穀取引所長）十八日朝入城朝鮮ホテルへ

▲柳楢次郎氏（穀育博物館長）……

▲小寺大佐（咸鏡南兵備隊長）……

▲廣瀬前正氏（第一銀行幹事）十七日入城天眞樓へ

▲小山正三氏（鈴木商店京城支店）……社用にて十七日夜南大門驛著

▲久保要藏氏（滿鐵京管局長）……日夜滿洲より歸任す

▲竹我幹四郎氏（新任木浦府尹）十八日午前十時南大門驛著にて赴任

茶話

來月三日には東宮殿下が長途の御旅行を終らせられ無事の御歸朝を國民はお待ちかね申してゐる▲この御よろこびに先立ち更に一層慶事なるは李王世子妃方子殿下が第一のお目出度として王男子を御分娩あらせられたことである▲丁度この頃ゥヰンナーで第三回國際婦人聯盟大會が開催されてゐるはずだ▲日本からは初めて婦人が出席したらしくその內の一人河田ミチ子君が明日に於て開會の大膽がる……せられる▲計議のプログラムを見て感ぜられることは國際平和に對する同會の理想である▲世界の有識代表婦人が眞劍に此の聯盟の實現に奮闘することを見やうによつてはワシントン會議以上の効驗があらうも知れぬ▲アメリカの多數の上戶黨に泡ふかせてアツトばかりに奶を覆せしめたのもその本はアメリカ女の飲酒排斥運動が動機だつたことを知らねばならぬ▲ツイ先達てまでは弱きものよ汝の名は女なりといはれた▲時代は一轉して細腕の女が世界改造の急先鋒となつて來た

十七日　十八日　……

仁川に著いた深川府尹
＝十七日午後六時二十四分＝

總ては輿論に聽いて 府の爲に盡したい

と……前任府尹と同車して
赴任の途、深川府尹語る
微笑の裡にも強い信念が窺はれた

【仁川】十七日午後六時二十四分入京の列車で著任した深川新仁川府尹を京仁急行車中に訪ひ折好く同車の吉松前府尹の紹介で刺を通ずると氏は慇懃に受けて快よく語る、「木浦在任二ヶ月仁川は今度で一寸通覽的の觀察をした位で全く初めての土地です僕は新聞に依つて消息を窺ふに過ぎないので從つて如何なる施設があり如何なる計畫が進められつゝあるか皆目知らない勿論着任後の抱負などもまだ考へ及ばない處です將來充分の研究を加へて徐ろに實行したいと思つて居る總ては皆さんの御指導に仰がなければなりません」新府尹は輕い微笑みの裡に強い信念を面ざしに見せて何事にも深く考慮するらしい態度で記者に答へる、「京仁電鐵敷設問題も結構です地理的關係に於て兩方は必ず近邇しなければならぬ今既に其の時代が迫つたのでせう、何をするにしても輿論の力を借りなければ達成が出來ない仁川として爲すべき事業が澤山に殘されて居るさうですがそれ等の問題は努めて輿論に聽き出來得るだけの努力をしたいと考へて居ります」相對して腰掛けた吉松前府尹を前にして頗る皮肉ですが如何です貴方は此の前府尹の事業の前にして『立案計畫をした前府尹を悉く繼承する御考へです』かと笑ひ乍らに奇問を發すると吉松府尹が之を受けて「そりや君無理だよ僕だつて京城では僕の方針に基いて將來の仕事をすると既に確信を建て居るのだから實行不實行は……」三人哄笑を交はしたが深川府尹は頗る眞面目に返つて「前任者の計畫は誰もが其の踏襲はなかく困難を感ずるものです、然し乍ら人の代る毎に其の方針を變へ計畫を破られては府民も迷惑でせうから或る程度は出來るだけ尊重したいと考へて居ります」話は車輪の回轉する如くそれからそれへと續く御家族は何時頃……と問へば「家内は當分動けませんが家族の一部は近く呼びたいと思つて居ますそれで子供は不敢取旅住みです、家族は一團體居りますし引越したら仁川の人口が大分に增加しますよ……」と笑つてゐる瞬間に急行と名の付く列車は一路仁川に著くホームには府協議會員其他名譽職學校長消防組員の職員多數の出迎へを受けて後一々挨拶を交はし乍ら自動車に搭乘新舊府尹及び官廳首腦と向つた

大仁川の建設

其の實行機關として仁川作振會成立せん
「三大問題の解決を急ぐ」

【仁川】仁川繁榮策として月尾島の公園施設は既に其の必要の時代に入り京仁兩地の聯絡として電鐵敷設も亦既に可能性を帶び來れりと云ふ事によつて此の重大なる大仁川建設の急先鋒たるべく之が實行機關を設置する事となり先づ之が立案者に立て商業會議所でやつた即ち左の如き會則規約を立案し其の名稱を仁川作振會と名付ける事とし來る二十日商業會議所評議員に協議事項として提案する筈となつて居る總ての問題は會議所が主體たるべきは勿論で本問題に就ても尚大體案を作製して而して注文を其他の名望職員に諮る筈だと云ふ之を以て仁川振興の有力なる一實行機關の誕生と云ふべきで同會の活動は蓋し着目に値するだらう

規約

第一條　本會は京仁兩地の經濟的接觸を密邇ならしめ共同の福利を[illegible]の繁榮を期するを以て目的とす
第二條　本會は仁川作振會と稱し事務所を仁川商業會議所内に置く
第三條　本會は其の目的を達成する爲め左の諸件の遂行を期す
一、京仁間電氣鐵道の速成を期する事
二、月尾島に於ける遊園地設備の完成、同時に完備せる海水浴場其他適當の設備を期する事
三、漁港其他商業貿易の繁榮を助長すべき諸般の事項を調査研究する事
第四條　本會員は主として名譽職員代表有力者を以て組織す
第五條　本會に左の役員を置く
一、會長　一名
二、幹事　一名
三、委員若干名
第六條　役員は總會に於て選舉し任期は一個年とす
第七條　本會所要の經費は會員の醵出金其他有志の寄附に仰ぐものとす
第八條　本會の會務は[illegible]
第九條　本會は[illegible]仁川地の有力者を推して名譽會員とす
第十條　本會重要の事項は總會の議決に依る

鮮米死活の岐路

代用制廢止問題
朝鮮は各地共極力
反對の氣勢を揚ぐ

【京城】既報の如く東京に於て開催の全國取引所聯合大會に提出せられたる鮮米代用廢止案に對し各商業會議所は大反對の先鋒となり之が反對運動の策に就き十四日後文の檄を飛ばして總督府始め全鮮各會議所及東京大阪の兩會議所に向け夫々不認可、結束、運動方の照請と督勵が醸めたるが各所より十六日迄に到着せる返電左の如し

▲大邱　貴見た當所より反對意見提出せり中央國政交
▲木浦　貴電拜誦直に內鮮當局へ反對を表し打電せり
▲仁川　貴電受領本日夫々關係當局に御盡力を乞ふ
▲平壤　鮮米代用撤廢之件當局に打電す
▲鎭南浦　貴電拜誦反對意見を各當局に打電せり
▲大阪　貴見た研究の上適當の措置をとる

尚十六日附之が參考資料として內地著名の取引所即ち東京、大阪、京都、名古屋、横濱、新潟、金澤、四日市、神戶、岡山、廣島、下關の十四ヶ所に對し大正五、六、七、八、九の五ヶ年間に於ける朝鮮米受渡高に其の內朝鮮米數量の內譯に就き照會狀を發せるが本問題は鮮米死活の岐路にたつ重大問題にして鮮土產業の開發上由々敷大事なりとし[illegible]

識所之が導火線となり全鮮を舉げて反對を聲明し釜山は特に官民一致にて對抗す可く其の意氣込みたる可からざる概あり

野田遞相返電

【仁川】鮮米代用廢止に關し仁川商業會議所よりも內地各要府に向つて之が電請を爲したるは既報の如くなるが野田遞相よりは十六日仁川商業會議所吉田會頭宛左の如く返電ありたり
「電報の趣能く當局へ注意せり」

稍は勿論仙人の番稽と雖も稍は見掛け次第拔取を實行し且つ之が實行を官憚する由

新義州小學增築

【新義州】新義州小學校々舍建築は本年度に於て講堂建築に陸續き八教室約百十坪の增築をなす筈にて不日工事を請負入札に附する由

地方事務所上棟

【安東縣】安東縣驛前通りに於て新築中なる地方事務所、工事務所共同事務所は去る十四日上棟式を舉行したり同事務所は本年十一月中には移轉執務するに到るべしと

清津貿易激增

七月中の清津港貿易額は昨年同期に比し輸移出に於て十八萬二百四十三圓、輸移入に於て四十九萬百十一圓、合計六十七萬三千五十四圓の激增である、即ち輸出では小麥、大豆、魚類、木材及粉、肥料、其他雜品、合計で三十一萬七千八百四十一圓輸移入では米、麥、小麥粉から食鹽、砂糖、織物、金巾、洋紙、鐵類、陶磁器等七十八萬三千七百八十九圓、出入總計百十萬千六百三十九圓となつて居る

全鮮一

仁川簡閱點呼

【仁川】仁川簡閱點呼は十五六の兩日午前七時三十分より舊町の公立普通學校々庭に於て平林中佐指揮の下に執行十五日は參會者百九十四名に達し遲參者二十一名事故不參二名無屆一名の不參數あり十六日は百八十五名の中遲參三名無屆不參一名を算せり出席の狀況より見れば遲參の多き事殆ど全鮮一と云ふべく他に其の類を見ざる不成績を現はし無屆不參二名を算したるは遺憾なりとす可し當日訓戒を受けたる者四名ありたるが在鄉軍人の模範となるべき者三名に對し會者の前に於て執行官より表彰の光榮を荷ひたる者ありしは本人は勿論仁川分會の聊か面目を施せる處あるべし表彰を受けたる者左の如し
豫備步兵上等兵[illegible]　後備步兵上等兵[illegible]　後備步兵上等兵[illegible]

滿鐵造林計畫

【安東縣】安東縣地方事務所に於ては大正十年度より三ヶ年計畫にて鳳凰城より草河口間に於て鐵道附屬地に造林中なるが十年度に於ては十七萬六千本を植栽し約八萬方の面積を見たり大正十一年度にては二十九萬本、同十二年度には十九萬五千本を植付くる豫定なるが樹種はカラマツ、赤松、ニセアカシヤ、ドロノキ、胡桃、栗等なりと

稗拔取り開始

東拓金堤支店の努力

【金堤】金堤東拓支店に於ては同當局の方針に從ひ八月十六日より廿二日迄を第一次稗拔き週間と定め各行各所在地に社員を出張せしめ移住民並に小作人を督勵し稗拔きを行はしむると共に社員たると移住民小作人たるとを問はず此の週間は各自の[illegible]

天安の點呼好績

【天安】天安郡內簡閱點呼は八月十四日午前七時半より天安小學校に於て行ひ颱山より柏原少佐執行官として來天せり點呼人員五十六名內一名は正當缺席一名は日數の取違へ者のみにて成績頗る良好なりき

釜山署管轄區域擴張計畫

東萊は分署か

【釜山】既報の如く釜山府に於ける警察署は近く改築擴張の事に決せるが之と同時に警察署管轄區域を擴張し東萊郡內にある沙下面沙上面を釜山署管轄區域に加へ東萊には分署を置き一丸となさんと計畫中なり

工兵隊の演習

天馬山下に架橋

【[illegible]】會寧工兵隊第十九大隊の二百八十餘名は中村中佐に引率されて六日より[illegible]に來り天馬山下に於て各中隊毎に架橋演習を行ひつゝあるが之れが二週間許りですむと云ふ續き水練習もやるので當分は當地に滯留する模樣である

航空隊上棟式

嚴肅に舉行

【平壤】平壤飛行隊第六大隊本部廳舍は十八日午後四時より上棟式を舉行し建築請負業者並に其他關係者を招待し嚴肅なる上棟式を擧行したりと

金剛山探勝團

【釜山】釜山府にては此の夏季休暇中を利用し北鮮沿岸各地の探勝をなす爲め金剛山探勝團を組織し[illegible]引率の下に十八日[illegible]丸にて釜山を出帆せりと云ふ

警察官水上競技

【釜山】釜山水上署にては松島海水浴場開場以來附近海上取締の傍ら署員の水泳技術の訓練をなし居りたるが[illegible]以て終了の由にて當日は同所に於て之が大競技會を開催すべしと云ふ

精靈流し

海と川との美觀

釜山　釜山の盆祭は例年の如く十三日より營まれたるが各宗寺院共一年一度のカキイレの事とて參詣者踵を接し十五日深更に至る南濱一帶の精靈流しは昔時虎疫猖獗多數の死亡者を出せし關係か殊の外の殷盛を極め無數の精靈船は折柄の月光に照り映へて[illegible]なる海上に燈火の陣をしき一入の美觀を添たり

安東　久しく雨天勝ちなりし安東地方の天候も十五日朝よりカラリと晴れ渡りたるを以て同夜は盂蘭盆會に相當したれば各宗寺院は勿論各家大小の精靈[illegible]

土川稽古納會

【春川】八月十五日春川劍道士會に於ては武井警察部長並に道內務部長等同會員を引率し[illegible]上川稽古會を開催未曾有の盛況裡に終りを告げたる後五分間前說の後茶話會ありて午後五時散會せり

素人相撲は延期

【安東縣】安東縣體育協會主催の東神社境內にて去る十四日素人相撲を催したるも生憎雨天の爲め午前十一時取入れ掛けにて中止來る二十一日の日曜日を以て更にやり直しの事となれり

林田平壤旅團長

【新義州】平壤步兵第三十九旅團長林田一郞少將は鴨綠江上流地方より十六日午後新義州に來り十八日まで滯在十八日午後の列車にて平壤に歸任すべしと

『賃金を下げては困る』と

米選り女工連の不平
一部休業者もあつたが
問題は事もなく解決した

【仁川】仁川の各精米所を通じて昨今就職する一千の米選女工が賃金値下げに不平を抱いて同盟休業をなしたが[illegible]重大の問題でもなく一部の休業を見たと云ふに過ぎない事である仁川には精米業者十軒より成る仁川精米組合がある、組合は去る七月三十日協議をして八月一日から米選り賃金の一割下げを決議した、物事の改めらるる時には多少の動搖がある者で御多聞に洩れず之を聞いた各所の女工連は下げては困ると云ひ[illegible]一部のものは休業をして[illegible]

商議臨時會議

【鎭南浦】鎭南浦商業會議所にては平壤に於て開催さるゝ鮮內商業會議所聯合會及鮮滿商業會議所聯合會に提出すべき案件に就いて十八日午後一時より同所議室に於て臨時評議員會を開催せりと

滋賀視察團下仁

【仁川】滋賀縣學事視察團一行二十五名は廿四日午前七時四十分京城發列車にて下仁築港其他を視察月尾島遊覽を試み午後六時二十分發列車にて出發の筈

棚橋督學官視察

【新義州】文部省督學官教育博物館長棚橋源太郞氏は十五日夕新義州に來りみどり屋旅館に宿泊十六日は栄林會[illegible]及び製材所等を視察し安東に來り午前十一時十分發列車にて五龍背に赴きたるが十七日午前九時より新義州公會堂に於て社會教化事業に關する講演をなしたりと

地方集會

○府尹の歡送迎宴　吉松前府尹の送別會深川新府尹の歡迎を兼ねる歡送迎會は二十日吉松府尹の正式赴任を以て仁川官民有志は十九日午後五時より[illegible]小學校大講堂に於て兩氏の歡送迎會を催ふす筈なり會費金五圓希望者は仁川商業會議所へ申込むべしと但し會費金五圓の內一圓五十錢は記念品代に充つべしと
○名譽職員の送別宴　仁川學校組合議員府協議會員及名譽職員は十八日午後七時三十分銀水に於て吉松前府尹の送別會を催すべしと

地方人事

▲川上東拓理事　大連旅順方面出張中の川上東拓理事は夫人同伴十六日午後九時半再來哈爾濱へ投宿一週間滯在の上北方哈爾賓方面視察すべしと
▲鈴木重憲氏（安東小學校長）　郷里へ歸省の中なるが來る二十日頃歸任すべしと（安東縣）
▲石崎久三郞氏（株式會社石崎商店長）　郷里岐阜縣へ歸省中の處二五日歸社したり（安東縣）
○訂正　江西通信中『五十錢以上』とあるは『五百錢以上』の誤に付訂正す

南鮮第一の高山
智異山
天幕探檢隊
參加申込　八月二十日締切
旅費　二十五圓の豫定
出發　九月一日
主催　全羅北道勸業課
後援　京城日報全州支局

プッシコ

▲朝鮮第十三師團は全國各師團を通じて最も野球熱の盛な處で各聯隊每にチームを設け試合に熱中になつてゐる其中でも騎兵隊のチームが非常に強く是に對抗するものが無い相だ▲朝鮮部隊では[illegible]兵隊が他に卒先してチームを設け盛に練習してゐるが[illegible]▲[illegible]

[illegible]の風紀頹廢を與へるものだ▲泣いて馬謖を斬つた例もあるからナ

仁川として爲すべき事業が澤山に殘されて居るさうですがそれ等の問題は努めて輿論に

大田の發展策[illegible]
元來我が大田郡は無事平穩の地にありたるも偶不逞鮮人の入込みあり[illegible]
事に關し不可能たるべきを覺悟したるため近時の我が管內は是等不逞漢を帶びたる[illegible]
勿論市民有志[illegible]にして[illegible]
所にあらずして風紀問題を惹起すべからざる相當の設備をなし[illegible]許可しても差支なき[illegible]
[illegible]段方法が[illegible]巧妙に趣きつゝあるは遺憾なり云々

松井博士動靜

【釜山】[illegible]十六日釜山棧橋[illegible]連絡船にて[illegible]東の宮[illegible]釜山の將來と題し大講演會開催の由同日午後七時より釜山ホテルに於て本田府尹、[illegible]

モンカーム號

[illegible]

演藝案內

大正館　電話九七三
本日より　南極探檢　全四卷
英國探檢家シヤツクルトン卿一行の南極探檢實寫
片男波　全五卷
灰色の女　全三十一卷の內　第十一、十二編
金看板甚九郎　全五卷

喜樂館
當る十九日より
野晒悟助　全六卷
連理の枝　全七卷
戀ごころも　全五卷
大正館

黃金館　電話一六三七
當る十九日より
納涼興行
南極探檢　全四卷
片男波　全五卷
灰色の女　第十一、十二編
金看板甚九郎
湯淵の大威力
[illegible]騎手

大正館　電話九七三
戀ごころも劇　全五卷
連理の枝　全七卷
野晒悟助　全六卷

浪花座　電話二三八番
七化長五郞
餘興新派喜劇

京龍館　電話二一一番
軍神乃木將軍　全六卷
河童金藏　全六卷
電のパール

山田孝道老師校註
森大狂居士
校補 點註 禪門法語集
特價金拾圓　期限八月廿日限り
發行所　東京神田猿樂町二ノ二　光融館

治淋新劑
ウラルゴール
日英獨政府專賣特許
斯界大家に讀告す
東京市日本橋本町
友田合資會社

寫眞機材料
各種直輸入
釜山本町一丁目
岩瀨寫眞機店
電話七五五
振替七八八

後和下劑
ラキサトール
便秘症殊に常習性便秘症に用ひて卓効を奏す
本品の特長とする点は用量頗る僅少にて奏効し無味無臭なれば婦人、小兒も內服し易く、何等の副作用を呈せず且つ習慣性を來さざるにあり
散劑、錠劑二種類あり
（說明書進呈）
大阪道修町
發賣元　株式會社　鹽野義商店
東京出張所　日本橋區本銀町三ノ九

模範三巡査表彰
勅定の功勞記章下賜さる

朝鮮總督府では今回模範警官に對し其勞務を表彰方を申請中の處去月二十五日附左記三巡査に對し何れも勅定制定の警察官吏消防官吏功勞記章を下賜せられたるを以て道知事の手を經て夫々表彰したが同功勞章を受けたる者は今回と共に全鮮を通じ四名にして其氏名及事績は左の如し

平安北道常民 朝鮮總督府道巡査 姜化熙

明治二十七年八月二十二日生 右者大正六年九月朝鮮憲兵補助員拜命大正八年八月二十日制度改正と同時に巡査職拜命平安北道朝鮮警察事務に從事し平素職務に精勵格勤一般巡査の模範として目せられたる處本年三月以來支那地より不逞鮮人等に潛入し放火、暗殺等兇暴の限りを盡し中にも猖獗を極めつゝある不逞團は天摩山に根據を置き大正九年六月十日昌城郡大倉面長を殺害し爾來益々猖獗に出で朔州、昌城兩郡に渉り或は公職に在る者を狙ひ或は良民を脅し金品を掠奪する等爲に人心恟々其の堵に安せず、漸次の波及する所漸次猖獗を加ふ

功勞紀念章

朔州郡警察は夙に之等不逞團の撲滅を圖り討伐隊を編成し專ら搜索に腐心せり

姜巡査は其の部隊の一員として同年十一月三日午前五時朔州郡水豐面安興洞に於て昌城郡大西面一外五名の不逞鮮人三名と協力銃器を携へ偽り武裝せる不逞鮮人十二名に遭遇し勇敢に之を攻撃し三名を逮捕し同年六月二十八日午前四時朔州郡南面蕃洞に於て巡査眞田市藏外一名と協力銃器を携帶せる不逞鮮人二十四名と銃火を交へ五名を殪し二名を逮捕し多數の銃器及物品を鹵獲す

表彰せられたる姜化熙氏

斯くて數度の交戰に姜巡査は常に身命を賭し最も機敏に最も勇敢に奮戰し就中最後の交戰には敵陣に進入し敵一名を銃劍を振ひ一突に即死せしめ他の一名は一彈にして之を殪し猛進により一名を射殺す一氣に能く三名を殪したるが如き一騎當千の働きは慥に大敵を屈服せしめ威武を輝かしたるものにして其の功勞は抜群以て警察官吏一般の龜鑑と稱すべきものと認む

慶尚北道士族 朝鮮總督府道巡査部長 中村筑三郎氏

明治十三年十一月廿六日生 右者明治四十年三月理事廳巡査拜命明治四十五年四月平壤警察署勤務を命ぜられ現に刑事巡査として高等警察事務に從事し平素勤務に勉勵し事務熟達の處大正九年九月十一日不逞鮮人日魁外各名を逮捕の重責を負ひ阿部警部及李巡査と共に奉天へ派遣せられ強て奉天領事館警察署員の應援と得協力搜索途に奉天城外西北方里なる塔灣村附近に潛伏せるを探知し

九月十六日午前二時同地へ發足したり一行は未明に到着し手配をなし捨錢中村刑事外一名は小莘なる一家屋一戶を發見したるに依り他の二名を屋外の警戒に備へ單身屋内に入り捨錢し其の場に於て支那服を纏ひ臥せる三名を認め誰何せしに中なる一名は上體を起し拳銃を抽射せしも中村巡査は之を押さへて命中せざりしが

其の行動非凡にして猛烈なるは刑事部長たる阿部警部を驚倒せし中村刑事は慨然彼に組付け決死の勇を揮ひ逮捕せんとせしも獰猛なる日魁は短銃を發射し抵抗頑強にして容易に逮捕するに至らず終に努力を爲すこと數時間にして双方共に力竭き活動充分ならず彼は機に乘じ銃を拋ち逃走を企てたるも直に追跡し屋外に待伏たる二名及び其他の應援者一行と協力し遂に附近の黍畑内にて彼が頭部を撃ち負傷せしめ之を逮捕し得たり

中村巡査の危險を顧みず職務に從事せる中村刑事の一行は日魁の逮捕は彼をして極度に疲憊せしめ逃走力を奪ひたるに基因するものにして其功勞抜群警察官吏一般の龜鑑と爲すべきものと認む

同 卿昌烈氏

京畿道常民 朝鮮總督府道巡査 卿昌烈

明治三十年十月十七日生 右者大正六年四月朝鮮總督府巡査拜命大正八年八月二十一日官制改正の結果朝鮮總督府道巡査となり京城鍾路警察署勤務となり命卿巡査は勤務精勵の處大正九年十一月五日京城府雲泥洞邊德永方に押入りたる強盜事件假政府派遣部暗殺團長三名を官吏全州團員を逮捕せり

一月五日京城府雲泥洞邊德永方面へ

右者大正九年十一月二十八日再び營る武器團員なりと稱し

象も熊公もへトヘトく
郵船信濃丸大時化に遭ひ 辛ふじて門司に入港

臺灣航路信濃丸（六千噸）は基隆出帆六十哩の海上に於て大時化に遭遇し漸く沈沒を免れ一昼夜遅れて十五日午後六時過ぎ門司に入港した同船の船長は語る「今回の時化は大正四年來の大時化で波荒れ狂ひ船體を洗ひ怒濤に捲き恰も悪魔の群衆の叫喚の如きであつた乘客は生きた心地なく何れも懸命に念佛を唱へて居た處有田興業部の象熊其他二百九十餘の動物も殆ど死したる如く流石元氣の巨象もヘトヘトであつた船客は僅に甲板の荷物數個が浚はれたのみであつた」（下關電話）

淺間山上の暴風

淺間山は十六日朝の御來光を拜するべく登山者約一千名に及べるが折柄火口の附近に於て暴風に襲はれ遭難者の中には負傷者もありこの外行方不明者もある見込にて八方搜索中なりしが十日朝登山者を護送し歸鄕せるが中には道に迷ひ入り辛くも死を免れ草鞋を喰んで逃げたるものあり五十名は危險區域たる鬼押し出し方面に（長野電報）

阿片栽培者を銃殺し

寛甸縣内は多量の栽培をなし居るは不都合なればとて來だ成熟せざる阿片を悉く除去すべしと持主に命令し除去せしめたる上近に七十二名の内二名を銃殺し他の全部に對し片耳を切りたる件甞て林東報道寛甸縣城東部の團山嶺附近に於て奥奴の制令あり

興行場へ投石
見物人二名負傷

十六日午後十時四十分大きな煉瓦を投じた仁川境内慶座に於て開演中の小明一行の演劇場へ一聲の觀客がある恰も見物中であつた花房町一二三の下中川トセ（四〇）の頭部に當つて一創を負ひ又一創を負傷せし同町一の破片は花房町の吉浦藏造（二十六）の頭部にも當つて三創を負つた此犯人は不良鮮人の一團で前日興行場の飼つて居る猿に投石して興行主から叱り付けられた怨みからしく目下嚴重に取調中である（仁川）

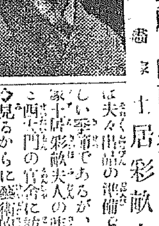
釜山の死美人
死因は癲と判明

既報の蜘蛛山溪間に於てあはれ一輪の百合の花を抱きて往死せる妙齡の死美人は西町四丁目杉本菊二階借の佐藤勘造の妻ツヤ（二二）と判明せるが原因は日頃から精神に異狀ありたる者にて二十八日再び癲癇を起し十一日戶外へ散歩を好み同日も單騎出

三年前の殺人犯
仁川署で逮捕

去る大正七年一月九日富川郡鄲里新院内地人森住三郎は鮮人の爲に短刀を以て殺害せられたる傷害致死の事件があつたが加害者は同里無賴漢貝額鎭（三）で金を借りに行つて斷られたのを遺恨に思ひ殺した事で（仁川）

「朝鮮のポプラ」を畫題にして
美展を眼前に控へた 土居彩畝夫人



畫家 土居彩畝夫人

今では三人の子のお母様として西大門の官舍に在る土井典獄夫人彩子さんは隨分若年にして斯界に於ける閨秀畫家と謳はれた人で十七八歲の時にも其所屬と日本美術協會より選ばれた今上陛下の御前揮毫を、尚は其他の畫家八歲の折は李王世子殿下の御前揮毫と再度の光榮に浴し其の傳統閣展覽會出品物のお買上げに離れまして殊に家庭の人となりましてからは大々多忙になりまして中央に出品も怠つてゐます

今年は折角朝鮮といふ土地に參りましたので、何れか朝鮮の趣味ある風俗を捕へたいと思ひまして、是非一つ朝鮮の方を描いて見たいと思ひましたが、先づお仲間だけに此の展覽會を中心として美展の出品は兎も角、先づお仲間だけにして取りかゝる筈です—云ふ朝鮮出品はこれが流行に展覽會を眼前に控へた繪

◇見るからに藝術的な彩畝夫人は西大門の官舍に訪へば先づ藝術的な彩畝夫人の作品を「こうした昨今の模樣なし」は夫々出品の準備に比較的に閑しい季節であるが、此の今年の作品は自分の好みの花鳥で塗られた應接室でも氣まかせに好みの花鳥畫で彩るといつた風に押されて今頃では、お話の要點と思はれた藝術心にやつて來ましたので、ます

◇一東京時代は閨閣の模樣から

倉庫破りの賊

竊盜前科三犯鄭明淑（三二）は竊盜常習犯で去る七月十六日以來數回北部町長峰里倉庫番所を窺ひ京城府鍾路住所不定の竊盜犯にして數回の竊盜を以て貨物を竊盜し之を賣却して遊興に費消したが八月九日午前四時仁川敷島鮮人貸座敷鬼笑樓に登樓遊興中を取押へられ目下嚴重取調中であるが自白せる處によれば七月十六日午後十一時頃仁川驛ホームに置きあり支那麻布館八十五疋入九十個の内二十個を竊取し京町五番地布木商宋在龍方に賣却して五十一圓を得たるが共同犯三名あり之等は仁川驛構内を破壊して四五百圓の竊盜を働きたる事判明せり

花田中佐來奉
例の在

奉天人で其名高き花田中佐は本年十月下旬を期し朝鮮經由來奉すべく其の要件は日露戰爭當時花田中佐の參謀として働きたる鶴岡永太郎氏が偶奉天青年團の爲めに一場の講演をなす爲なりと、尚中佐は朝鮮に於ては京城其他四五箇所にて講演し、奉天にては靑年團の外在鄉軍人會の爲めにも講演すべしと（奉天）

死亡給與金交附

郵便局在勤中殉職した故中村源次郎の遺族に於て組合より四百十四圓を交附して殉職したるのみにて十四圓除に過ぎず現業共濟組合に於て組合加入者死亡の死亡給與金を遺族に給與して

聯珠競技會

來る二十一日（日曜）午後一時より明治町京城醫學專門學校の聯珠競技會を開催の由なるが會費は金五十錢にて茶菓の外景品の寄贈あり一等以下多數の賞品あるべく參加希望者は二十日夕迄に直接南貞場に申込まれたしと

關釜連絡船缺航

七日朝門港より吹き出した颶風の爲め連絡船の缺航見合せた時間に昌慶丸は闕下關出帆の對馬丸と同じく缺航せり

滿洲馬賊を觀る
見もの聞きもの

十七日より京城座で公開される朝鮮が活動寫眞界の出世作「馬賊の頭目」を描く大活劇にて東京へ以て滿洲の寫眞を背景に彼の東洋に勇名を轟かした馬賊の頭目

紺地絣
一反參圓三拾錢

日本一で有名な久留米絣の本場より堅牢なる染色の絣を大奉仕で一反の三圓三十錢より提供する事に致しました

虹彩よりも……
果敢い戀の物語（一）
朝鮮は遠い國よ また何時逢はれやふ

山の手線の目白驛の前の淋しい屋の横の小路を上がつて暫らく行くと迂曲した生垣の間に少し古ぼけては居るが小さな洋館の屋根が見へる。此洋館は谷崎潤一郎の小說『金と銀』の主人公である貧しい洋畫家の居たアトリエであると言ふ風評であつた此處に去年の九月末に小枝子といふ若い女性と早稻田大學を卒業した朴春鎭といふ青年が移轉して美やかな生活を立てた。其の生活は雪の降り初める頃までの僅なものであつた此まで附近の人は此の青年を化物屋敷と言つて誰も借り者は無く長い間空屋であつた。ペンキの褪せた窓から見ると學習院の杉林の上に雜司ケ谷の森は折重なつて、時々山の手線の電車が走る響がする、洋館の入口には可成り幹の太い葡萄の棚があつて霜の降る頃までは厚い葉は繁り合つて居た小枝子と朴春鎭は大變幸福であつた二人の戀心は深く熱つく永久に離れ難い物であつた小枝子は早稻田附近のカフェーの娘であつた。がいつしか瀟洒な朴春鎭を戀する樣になつたとして家人が牽制を避けて

朴と樂い生活に入つたのであつた。朴はすでに大學を終つてゐた二人の生活費は朝鮮から月々仕送られて居て、二人は人目を避けて極日郊外を散步に興じて居た

十二月に入ると朴春鎭の處に頻りと朝鮮から手紙が來たがこの手紙にも朴春鎭の歸國を促して居たが小枝子はそれとなく朝鮮を心に案じられて來た。それは朴春鎭との離別を暗示する感情はこびり付いてたからであつた。朝鮮は遠い國よといふ悲しい事が暗い響きがして二人は離れ、ば何時逢ふ日の來るか、實に思へば思ふ程頼り無かつた。朴春鎭には國に美しい許嫁の居るといふ事は小枝子には知れなかつた若し枝子には知られて居る時は小枝子の悲觀は是非無いが何になつた方がと思へるのか。朴春鎭にしても此の可憐な少女を捨てる事は出來ない。許嫁は

婚と言へそれは自分の未だ何も知らない時に兩親の許嫁で朝鮮の田舍から北京附近の叔父に連れて來て來たまで春やと愛しいをやかましく催促してゐる十三の朴春鎭に此はお前の嫁だと云ひ聞かせた。朴は許嫁に對して女のお友達が出來た位にしか思ひはなかつた。そして十八の年に東京に來て長い間離れてしまつたので朴にはいくら考へてもその許嫁は自分の一生苦樂を共にする妻とは思はれなかつた。遠い國に咲いてゐる牡丹の花の風評よりも手近に咲いてゐる一本の薔薇の方が嬉しいのは朴春鎭の心にすでに手近の可憐な薔薇の花に總ての熱愛を注いでゐたのだ。そして林の綠は總て落ちてしまつても小枝子の喜びは限りなかつたのだ。けれども二人の生活はいつまでも平靜で無かつた。池の水にも小波は立つではないか

珍らしい玉蜀黍病

顔や手足に紅色の斑點が生じ身體の具合が變なので十二日大阪醫科大學皮膚科醫長櫻根博士の診療を受けたが玉蜀黍病で伊太利等が本場で我國に現れたのは明治四十四年宍戸博士の報告以來これで二例目の珍しい病氣で此の病は玉蜀黍を食用する事の多い西班牙、伊太利等が本場で我國に現れたのは明治四十四年宍戸博士の發見を以て初めとする

狂人の自殺

平壤府…を病し遂に死に至ると云ふ恐ろしい病であると（大阪電話）

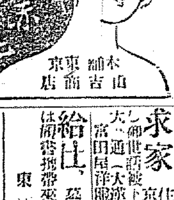
狂人の自殺（平壤電話）出刃庖丁を持ち來り頸部を切り自殺を企てたるも死に切れず…道立病院に擔ぎ込み

新義州の諸工事

新義州に於ける昨今の工事は未曾有の殷盛を極め民間の建築は素より官衙の移轉工事等も着々進捗しつゝあるが尚公立小學校は本年中には一部の竣工を見る筈で基礎工事及び校舍の建築も本年中に竣成の豫定で全部竣工の上は鴨綠江の架橋等にて新築せらるべく小學校に於ては一萬圓の豫算で二階建八教室を設く

府立銀行在庫數は新義州に於ても前年より激增せしが昨年に比し尚一千三百八石九斗を加へ三千八百八十一石を減す其の品種別は

小豆四斗入八百五十八叺五斗入百叺△小麥四斗入五千五百六十六叺五斗入四百叺七斗入三千百六十一叺△大麥五斗入六百十四叺一俵五千六十二俵

老の代


染法簡便 二分間に染まる 毛質をしなやかに保つ 染色は日久しく 特製大瓶八十錢 別製小瓶四十錢 (定價) 各地藥店にあり

本舖 東京 山吉商店

愉快だ
艷色情くらべ

女の秘密や 妖艶な 懺悔など 三十頁 (價) 四六判金一册美本二百八十頁

(內容) 戀の一義 其他 千金的 有名な 文の

時代から有名な人情本の艶作

梅ごよみ

全一册 四六判 二四〇頁 一圓二十錢

裸赤々

裸の男女の生活 珍無類の秘話

男女無上の快

全一册 送料四十錢

東京市下谷根岸町 春光社 振替口座三三九六六

輸出停滯の整理

玩具

セルロイド玩具 六百圓 代金引替 送料共

見本進呈 內田商會 東京

シンゾウ病

京日案内

仁川 吉木釀造場

社員採用 自動車 醫師 大工 寄大 貸間を求む 讓店 本用 恩給 古本 觀相 歐邦 寄給 寫眞 店員 求家 給仕 代診 讓店

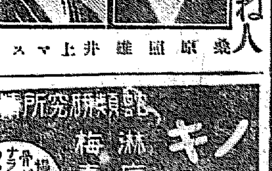
懸賞付尋ね人

桑原國雄 井上マスヨ

右六月八日逃走

男年齡廿八歲位 女年齡廿一歲位 其住所御通知下されし方には金百圓也の賞金を呈します

京釜線天安驛前 料理店 松乃家梶原



最新刊

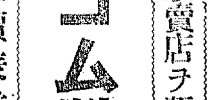
本間久雄著 續現化社會問題の社會學的考察 ラッセル神秘主義と論理 新婦人問題 祈れる魂 性的神の三千年 初戀より懺悔まで 特許のかぎ

大阪屋號

出版案內

寫眞の撮り方 エハガキ 倉色五人女 わかれ潮 日蓮上人の爲に

京城本町 ウツボヤ書籍店

ゴム靴


品質本位 販賣店ヲ募ル 定價表進呈 新型各種品揃

東京屋ゴム靴製造所

ノムと直ぐキク花柳病藥

淋病專門藥 梅毒專門藥 御注文の際は振替か爲替にてお願致します 代金引替にても發送致します

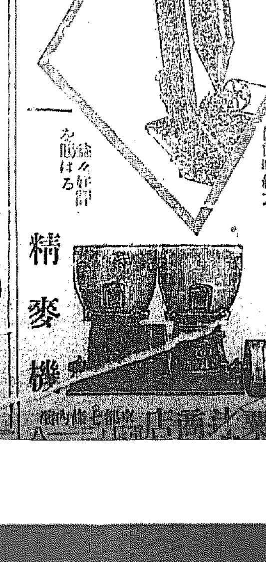
本舖 東京まむしのくすりや 特約店 川村銓造

夏の御料理には ひやおや酢の素 に限ります

ひやおや酢の素發賣元 大阪天満市之側 和田常七商店

精米機と精麥機
小澤式精米機

世界無比 搗減の少なき事精米界のレコードを破る



改良の須藤式は世界無比 精麥機 須藤式 栗林商店

手足等に紅色の腫物が出來る奇病=大阪に發生した

大阪市南區日本橋筋五丁目鐵材業宮崎振次(四〇)は數日前から頭痛を覺え[illegible]診察を受けた所が日本では稀なる俗に云ふ玉蜀黍病(ペラグラ)と判明し、同大學用患者足等日に當る部分に紅色の玉蜀黍の腫物が出來ると共に胃腸[illegible]して入院したが此病氣は玉蜀黍を[illegible]日本では右は[illegible]一人の患者が發見[illegible]同が二度目である。右病症は手[illegible]

王世子殿下　方子女王殿下

李王世子妃殿下 王子御分娩遊ばさる

―十八日午前二時卅五分―

御母子共に御壯健

李王世子殿下妃方子女王殿下は十八日午前二時三十五分王男子御分娩され御母子共御壯健に渡らせらる。電報に接した總督府では齋藤總督・水野總監は鳥井坂なる世子殿下に宛て祝電を發し、午前十一時總督總監は守屋伊藤の兩秘書官田中事務官と共に李王殿下に御祝詞言上の爲め自動車に搭乘昌德宮に伺候した

昌德宮は大繁忙

李王殿下も御機嫌斜ならず 奉祝の聲苑內に漲る

李王世子殿下御生誕の報傳はつたが李王殿下昌德宮は朝來喜びの色が漲つた午前十一時昌德宮に伺候すると

門內は腕車 の列が蜿々として連らなり仁政殿玄關に祝詞言上の爲め伺候の貴族紳官は引切なしに仁政殿受附は大多忙を極めて苑內給仕閣丁に至るまで活氣橫溢して居る。今村庶務課長に御祝詞を述べると氏は語る『今朝電報の到着したのは八時半でどんな理由か總督府よりも二時間遲れて居ます』電報は頗る簡單なもので直に長官から此趣きを言上すると王殿下は『男子か』と仰せられさすがに御喜び、餘り御聲を發せられた。

祝賀其他の 行務に關しては豫て發表した如く研究中であつたが御生誕が少しく早かつたのでまだ日取りは決定して居ないが今日中には決定する積りである、李王家では祝詞言上の爲李長官事務官、朴宥彬氏外職官二名二十日朝出發世子同妃兩殿下を始め、兩陛下並に御親戚皇族に御禮言上する事となつて居ます尚は長官一行は東上の上世子兩殿下の獻上品は東京で整へ、特に兩陛下には朝鮮古美術品として京城美術館で三ヶ年の日子を費した螺鈿寶石入御手函各一組及

皇太子殿下 には同樣に一個獻上する事となつて居ます。尚併せて來る九・三日御渡朝の皇太子殿下の御奉迎を申上げ御思問中上る事と決定して居ります朝鮮貴族の代表として東上する人は未だ詮衡中で多分公爵李載完氏の令息李達鎔氏に決…

七日目

御命名式は

御參拜は二ケ所

李王世子殿下御長子御誕生に就き宮內當局は語る

李王家に對しては未だ法規が制定してなかつたので本日御誕生の由を目下日光に御避暑中なる兩陛下に言上した結果本日又は明日中に於て御誕生王子に對し殿下の稱號を許さる・筈である御命名式は各宮殿下の例に依つて七日目になさる・筈であるが近日中に李王家からも李長官が特使として東上する筈で五十日以內に祖先の廟に御參拜ある筈であるが此度は兩地に祖先の廟があるので多分宮中の賢所と朝鮮の李王家の大廟と二箇所に御參拜になるだらう云々(東京特電)

何分月出度い事で宮內も大多忙を極めて何か何やら解らない樣です』と語る中にも各方面からの電話や來訪者の應接に忙しく盛に

日出度いと 云ふ聲が列內一般に擴かつて居る。仁政殿では午前十一時齋藤總督水野總監が守屋、伊藤、田中の各秘書と共に自動車にて伺候したを始めとして李完用侯李允用子、閔泳綺子、李載崐子、閔丙奭子を始め內鮮貴族紳官並に京城府民代表として渭村事務官は腕車で續ひて伺候した(正午記)

總督の祝電

齋藤總督並水野政務總監は王孫御誕生の趣きに就き十八日朝直に左の如き祝電を鳥井坂御用邸王世子並世子妃殿下に御傳達方高宮事務官宛打電せり

王男子御誕生の旨謹で御祝辭申上ぐ

朴宥彬氏は二十日朝南大門驛發一番列車にて東上の事に決定せるが兩氏と共に東上すべき完由ら李氏一門の代表者は未だ決定せざるも朝鮮貴族最上席李載完侯嗣子李達鎔氏出發の事となるべし

清遊

夕の漢口に舟を泛べて

總督總監の

齋藤總督、水野政務總監は夫人令息、令嬢並に守屋、伊藤兩秘書官同伴十八日午後六時より漢口に舟を浮かべて清遊を試み午後九時頃歸邸したり

李王職長官

二十日朝東上

王男子御誕生に就き豫定の如く李王殿下並同妃殿下御使として李王職長官李載克男同事務官…

農民大擧して

縣廳に押寄す

愛知縣丹羽郡丹陽村耕地整理施…

東宮殿下奉迎青年團

全國から千五百名

皇太子殿下御歸朝奉迎の全國青年團代表者は各府縣に於て詮衡を了し內務省に申達し來りつゝあるがその總員一千五百名にして來る九月一日迄に全部上京すべし(東京電話)

某地方の中島郡稻澤町赤池區に反對の…民百數十名は十七日午前十時大擧して縣廳に押しよせ代表者十數名は川口知事に面會陳情し形勢不穩なり(名古屋電報)

平榮丸遭難

船員六名溺死

樺太汽船會社所有平榮丸(千百四十二噸)は丸太を滿載して十五日午前五時静岡縣清水港を出帆し十六日午前十一時伊良湖水道に差かゝりたる際機關部に故障を生じ船は暴風のため附近海岸に吹き上げられたるが波浪高きため小舟は救助に向ふ事を得ず急報に接し名古屋に碇泊中の同社所有船太西丸(一千四百噸)は同地に急行したり乘組員二十七名中六名は海中に落ちて行方不明となり他は幸ふじて泳ぎつきしも內六名は重態なり(名古屋電報)

兩湖戰で邦船

砲擊を受く

兩湖開戰のため外國船の砲擊避々たる有樣なるが十二日には邦船樵丸、十五日には無電丸砲擊せられたる趣きにて瀨川總領事は直に之が事情を主査すべく軍艦嵯峨に要求せり(東京電報)

市電車庫燒く

電車十數臺も

今朝五時半東京市電氣局澁町車庫より出火同車庫及び電車十數臺を燒き六時鎭火せり(東京電報)

馬賊盛に暴れる

民心著しく動搖

馬賊中の馬賊と一時は羽振も好く千名以上の配下を從へて縱橫無盡の活動をやつて支那官憲を戰慄せしめた對岸輯安縣の馬賊頭目穿山甲の其後行動に就いて最近其筋に達した情報に依ると數日前二百名の配下を從へ自ら陣頭に立つて同縣輯和堡秋皮溝なる江岸奧地十里の地點に各自路式連發銃に彈藥二百發を攜帶せしめて集合し

附近の豪農 を襲ひ先づ豚五頭を掠取し之を屠つて初陣の血祭りとなし二三箇所に各自の糧食品を提供せしめ奧地に引揚げたと云ふ殘毛軍子保安隊警察第四分隊長傳有財は部下廿名を率ゐ出動したが及ばず民心は再三他の馬賊に襲はれ今又頭目中の頭目と目される穿山甲の來襲に恟々たるもので此の有樣なれば何時如何なる大規模の逆襲あるやも計られずと官憲は勿論市民は各自警戒をなしつゝあるが何しろ昔日の感無きを穿山甲さて官憲は多寡をくゝつてゐると又通化縣からの情報には

頭目鐵龍の 部下百八十名は露式五連發銃支那式單發銃及拳銃等取りまぜ百六十挺を

騎兵用無電發明成功

中野電信隊にては十七日騎兵用無線電信の遠距離試驗を行ひ非常の好成績を收めたり右は同隊最近の發明にかゝり今後本邦陸軍の最新通信機器たるべし(東京電報)

攜帶し少羅剛子に現れ豪農家を襲い現金三千圓及び牛二頭馬十二頭を掠奪したがこの一隊は輯安縣三道陽岔に於て頭目鐵龍と分れた分隊であるといふ穿山甲配下分隊及び王有山の大部隊とにより編成されたる二百五十名の一隊は相仁縣頭道陽岔に突…

通化縣方面

に逼迫し居る形勢があるが官憲の準備徹底せざるが之等は後穿山甲の本隊と合する事だ…ならず民心は著しく動搖し居るといふ

漁場監視船

砲擊を蒙る

去る七日朝七時勘察加西海岸ヤイナ川露漁業株式會社第四漁區に浦鹽政府漁業監視船現はれ漁場檢査を迫り檢査の結果使用せる漁網が漁法違反なりとて之を沒收せんとせるより會社側はランチを出し近づかんとしたるに監視船は直に本船に引揚げ大砲を發射しつゝ北方に退去せるが四分の救濟を乞ふ旨十七日會社に報告ありたり(東京電報)

西部廉賣所

西小門に設立

市內西小門にては先般來有志相談の上、西小門町衛生組合を組織したるが之れが組合維持費に付きて田中丸治平、篠崎勝四郎、上田勝助其他の諸氏協議中の處普通の會費徵收方法にては完全なる遂行期すべからずとなし特に西部廉賣所を開設することゝし之れが設立の結果は既に通知して其筋へ出願中の處數日前許可ありたるを以て近く西小門町中丸內臨時開設方の處三百六十餘の地均しに着手すべく廉賣所は十九軒に分割し之れを可及的低廉の地代にて貸與し此地代の收入を以て同町衛生組合費に充當する筈なるが將來は進んで道路の清潔並に組合費を以て各戶に配置せる塵芥容器の撤付又は町內の散水、下水溝渠の淺渫改修等をも町內に於て實行したき計畫ありと同町方面は一般に不便且つ不潔の地域勝ちなるもこれが設置により清潔を期すると同時に容易に新鮮なる物資の需求をなすを得べく計畫として面白き事と云ふべし因に廉賣所申込希望者は同町篠崎勝四郎、上田勝助方へ照會すべしと

讀者慰安會

本紙五千號記念

京城日報が半島啓こ內鮮融合の大使命を帶びて我漢城の地に呱々の聲を揚げて以來、茲に十有六歲本年十月を以て紙齡正に五千に達せんとす此間經營上幾多の消長を經たるも、是れ皆發展途上の春風秋雨のみ。而して今や半島論壇の巨人として社會の表面に濶步せり。是れ本社の自ら顧みて洵に欣快に堪へざる所なり。茲に於てか、我社は此光輝ある五千號を記念し、以て更に我前途を祝福せんことを期し、九月下旬一大記念增刷號を發刊し、併せて其今日あるに到らしめたる讀者平生の眷顧に酬ゆるため、全道數十ケ所に亘りて讀者大慰安會を開催せんとす。其內容の詳細は今後漸次之を紙上に披露せん。讀者願はくは之を諒せられんことを。

大正十年八月

京城日報社

博愛醫院長

醫師法違犯で檢擧さる

龍山漢江通り十一番地柳湯の裏に『博愛醫院』と金看板を揭げ堂々と開業してる院長とかいふ湯川繁太郎(四二)は目下龍山署の嚴重なる取調べを受けて居る、事件の內容は其筋で未だ發表の時期でないとて語らないが探知する處に依ると

繁太郎は 前朋の試驗に及第して居るが後期試驗に落第した鮮にて無資格者であるが內地に於て醫師法違犯で罰金刑に處せられ其の後朝鮮に來て町醫師の藥局生をして居たが昨冬古市町の木村醫院の看板を借り現在所に『博愛醫院』の金看板を揭げ醫業してゐたが本年四月頃から看板を撤し更に前記『博愛醫院』の看板を掛け昨今では一日四十餘名の患者を取扱ふといふ盛況を呈してゐる

本村醫院分院も其筋に無屆開業であるから當然罰しられるであらうが一方

『博愛醫院』 なる看板を揭ぐるに至つた動機は今春朝鮮に於て開業し得る處の開業醫試驗に及第した松本某(三七)を一ヶ月百圓で雇入れ之を囮りにして堂々たる陣を張つたので盛大今回松本醫が月給の値上を願ひ出でたのが抑

も內幕曝露 の端緒である、患者の大多數は此の無資格醫たる繁太郎を院長と心得先生々々と敬語を捧げ眞物の松本醫師を藥生と見誤り居れるは無理ならぬことで其筋に於ても

醫師法違犯は勿論詐欺の罪を以て嚴重取調べをなりこて證據書類數百枚を押收して

法廷便り

慶北奉化郡鳳城面相里洪鳳漢方に迫いて二萬圓を上海假政府に提供せねば一家皆殺しにすると恐喝した府內苑洞朴

…京城電氣會社職工で社宅二年▲京城電氣會社職工で社宅を強奪し…前河勇太郎(三〇)は窃盜罪懲役十ケ月但し二年間刑の執行猶豫▲宮武季十四なる青年を教唆し自轉車を盗ませ之を他に賣却した元巡査福井縣生れ佐野熊(二七)は窃盜教唆及び贓物牙保として懲役六ケ月並に罰金二十圓▲以上何れも十七日京城地方法院李判長から宣告された

三人賊の片割

住所不定孤兒李連植(二〇)は十六日午後九時貫鐵洞の鮮人旅館李仁鈴方にて一名の不良少年と共謀し女靴一足を窃盜し中林洞の堀川橋上に逃走せしを刑事に逮捕されたが同人は六日夜義洲通り一丁目朝鮮銀行員本田芳松方を襲ひし三人組盜賊の片割れなる事判明し西大門署にて取調べ中なるが餘罪ある見込みなりと

少年少女雜誌 金の船

九月特別記念號出來

給具皿

朝鮮線に於ける客車一輛には平均何人宛乘車しつゝあるかを調べて見ると▲先づ客車について見るに各等車を平均すれば一輛の乘車定員は六十二人九に當つてるが實際は大正九年度で二十六人七分を示し約三分の割合である▲之は急行や直通列車の如き運轉區間の稍々全區間を定員に近き旅客が乘車するものがあり一方區間列車や早朝又は深夜の綜々たる乘客が平均されたものである▲又貨車は二十六噸車もあれば二十二噸車もあつて平均載定積は二十四噸分であるが▲之に對する積載噸數は同じく九年度で十二噸八分に相當してる▲殘りの五噸二分を示し割合から云ふと四割二分は空車で走つて居る譯だから鮮鐵の缺損も無理がない

運動界

東京長崎間單獨マラソン計畫

上海極東オリンピック大會に参加して長距離競走にて極東レコードを破りたる吉岡信之氏は來年四月を期し多年の計畫たる東京長崎間マラソンを單獨決行する事を發表したり(東京電報)

喜樂舘捷つた

喜樂舘對仁川漢勇團の野球試合は十七日午前十時より仁川山根町グラウンドにて開始せしが八對七にて喜樂舘軍捷ちたり

大毎軍捷つ

大毎野球團對滿洲倶樂部との十七日午後四時より鐵道グラウンドに於て第三回戰を舉行せしが三對零にて大毎軍快勝せり

仁川在庫數量

八月十三日現在仁川…

[illegible]

新に命名せる裏金剛

オール大金剛の面目更に一新

八月五日の記(中)

外金剛萬相亭にて 田邊特派員

郵便延着の爲め探險隊の通信甚だ前後して八月五日の(中)を今日手にする樣になつた折角の通信を時日が遲れたさい ふ理由で闇から闇に葬る殘酷にも堪へ難く、事情は却て之が爲めに明白になること故讀者諸君の興味も少からざるべしと考へて到來次第つぎ〳〵に掲載することにする。

此より溪々たる石路に沿ふて約五六丁ほど西方に進むと右手には、ビリケンのやうな形の岩石が屹立してゐる、天神山は此の紫紺の色彩に包まれた天神山と云ふ岩山があるはれた丸味を帶びた山容は如何にも豐圓で溫…味ある感じを起させたその頂きの岩石に由來する名稱で一行が自然に對する讃美の聲げ步の進む

白雲の襲來

につれて舌端をほどばしる。今や險度一軒家まで辿りついた頃、さなきだに澄んでゐた空は見る〳〵 雨は一行の面に降り懸かつた、一軒家と云ふは日露戰爭當時日本軍の有利な通譯をつとめて東西に活躍した一鮮人の一棲家で彼は三年以前から此の家屋を捨て其後何ら新村落が生れて居るので文明な老人の生活を營んでゐるので一行は騷いで此の山中にも押し寄せ遂に役に木戸となつて彼の和な生涯の一蹴下に起る溪流の音にまじつて

は破壞されたのである、今は家屋の礎石を殘すのみで彼は何所に移轉し如何にして餘生を送つてゐるか其消息は杳として知る由もないのである

雨は次第に勢ひを募つた、阿部君は不安な面持で何かつぶやきながら空を仰ぎ、肩にかけた寫眞器を揺りあげた、『もう少し行けば

仙人窟がある

から其處迄辿りついて一服しませう』長箭から來た泉原案內者が斯う云ふと一行は俄に元氣づいて何れも雛話を交しながら急峻を右折左曲して行く、路は益々傾斜となり山はいよ〳〵險しくなつて未だ世に知れぬ奥金剛の佳境は恰も繪卷物を展げるやうに一步々々と眼前に展開する、恰

も三四丁進んだ頃であつた綠陰を深谷の上流に當り百七十餘尺の天峡から宛ら龍蛇の下るかと思はるゝばかりの一の瀧が三つの段階をつくつて一行の頭上に懸かつてゐる、溪壑を望むと青葉を吹いて來る

山嵐に碧潭は

小波を湛へて雨足に躍りか、香木の薫に峽にあふれて床しさだこへ得るものもない。『こんな壯麗な瀧があるのに今まで世の中に知られなかつたのは要するに長箭人士の迂愚を語るものだ』と某君が長箭住の人に皮肉を浴びせると『此れ位なものなら百でも二百でも…まあ足元に用心してもつとお先へ進みなさい寶地に見なければ話ちやわか

りません』とそらす。路は四十五度の傾斜となつた、谷を右側に越ゑて二丁程登ると先程から聞いた仙人窟が見られる。窟は岩山の中腹にあつて疊廿疊敷位の大岩石が自然に屢根をなして突出し下には五十人餘の群衆を一時に收容し得る程の軒を乘れてゐる一行は窟內に潜入し雨の小やみとなるを待つて此處を發す。時に午前十一時。此峽間より沸いて飛散するさまに溪木の風致は益々奇となり白雲に躍いて來る、此時紫潮君『見てはそぞろに神秘の感が胸間に入つた』とあつて此邊一帶の

峽谷を神仙峽

と名づけ寫眞部特派の天羊君は先刻から二十枚もレンズに收め

猶飽き足らずして八方に飛躍する、一方成峰錦伯も『戰慄の一景だ』とあつて油紙を頭から被ぶつたまゝ岩頭に蹲んで頻りに筆を走らせる。余も亦ノートを引き出してちよい〳〵ペン先をひねつて見たが、結局斯うした大自然美に對して禿筆をひねるなぞ潜越だと斷定し遂にペンを投けて茫然自失するものゝ多時であつた、神仙峽を出て二三丁程登ると谷は俄かに狹つて急流となり遂に瀑となり滝となつて天空に懸り水矢となつて深淵に碎けて落ちに躍り底知れぬ深淵に凝む樹枝る光景四邊の怪山草樹と相映じて唯もうだまらなく好いと云ふの外はない此所の

長箭の人士に

よつて特に萬相溪と名付けられた流石金剛通を以て自任する案內者阿部君も舌を卷き『こんな絶景は何所にも稀です、此れが貫紙によつて紹介されたら遊覽者は他の金剛に行くことをやめて先づ長箭から此の溪に入るべき新しい旅程を作るでせう』と云つた以下その如何に絶景なるかを證するに充分である。小中の瀧十數の多きを算し奇岩怪峰の點綴する姊妹に無心の眼を放つて進む一行の身體は全く雨にぬれて解けだし相であつたが次から次へと然も刻々に佳景となり行く無人の境は雨に浴びて一層の風情を添へ人をして人を忘れ山又山を忘れて所謂眠谷顛和のさかひに彷徨する(萬相亭にて)

京畿道管內ニ於ケル乙種朝鮮語獎勵試驗受驗者心得

一 試驗ハ左ノ日割ニ依リ西大門外京城中學校ニ於テ之ヲ行フ
(イ) 筆記試驗 八月二十五日午前九時開始
(ロ) 對話試驗 八月二十六日午前九時開始
二 試驗當日ハ受驗票ヲ持參スヘシ
三 洋服又ハ羽織袴著用ノコト
四 硯ヲ攜帶スルコト
大正十年八月十九日
朝鮮語獎勵試驗委員長 青木戒三

新案特許 第五二一〇號 第五四七六七號
手押自働噴霧器
定價 金參圓八拾錢
本器は空氣の壓力により液を噴出せしむる構造で、ポンプは眞空管にて空氣を吸入する…
東京市下谷區中眞島町一番地
各種噴霧器製造發賣元 宿谷製作所
振替東京三五四三八 電話下谷二八一八
支店 東海道富士驛前

純毛オーバー・スエッターの流行
一、安値時代の良毛に依る弊店製品は其肩毛糸商品の今日御仕入れの好機と存じ候
一、既製品又は八、九、十月渡し御約可致候
尚毛糸商の御注文を待つ
大阪市西區江戶堀下通貳丁目電話土佐堀二六六五
綿毛製品問屋 大谷義商店
製造品目 純毛オーバー、セッター 純毛アンダー、シヤツ 純毛首卷 運動シヤツ
新型カタログ要郵券

東京蒲田驛前 日本自動車學校
…最高手に最高の技倆を授け優遇就職…
規則書內地七十錢を無代送呈す 先づ其一の御注文…

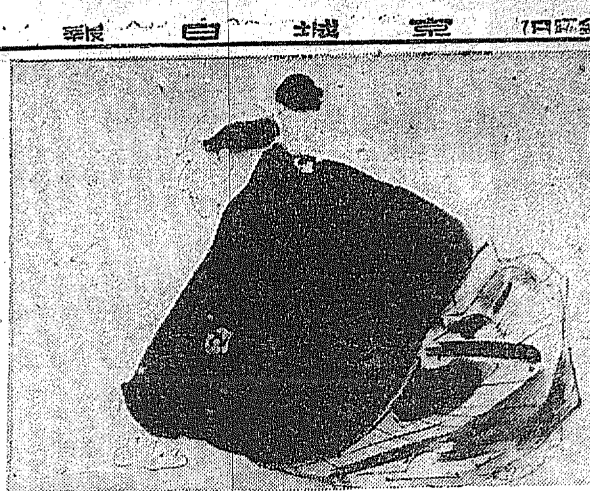
◎東京ち療院長加地代吉先生方劑◎
ち疾專門藥
我國に於て各種ち疾に苦惱せる老幼男女頗る多し故に專門の藥を以て苦痛無く其治癒を望むは吾人の要求なり…
◎主効 出血、消炎、殺菌、…
◎ち療散 ◎ち療膏 ◎ち療坐藥
東京 ち專門藥院
振替東京一〇八九五 電話下谷四一一四五

寛永御前試合

小金井芦洲講演

第六十二席

時に木下將監樣を進め 將『恐れながら唯今上の御沙汰に對して誰一人御受けを致す者はございません、茲に一人五重の天守絶頂に上り變化の本體を見極めまするもの心當りがございますからそれへ御下命を仰せ付けられたく』若『ハア將監それは何者である』將『身分は輕き者にございますが新規御召抱への鳥組足輕瀧本又三郎、此者は中々意氣盛にして武藝鍛錬の者にございます、是へ仰せ付けられまするやう』若『ウム將監、其方が見拔いて居つて然申すのであらう、身分の部下老若を問ふ所でない、然らば其者に申し附けるであらう』將『御許しを頂いて我が屋敷へ立戻り足輕組頭牧野宗八へ瀧本又三郎を召連れて罷り出でるやうにと云ふ御沙汰、行つて見なければ譯は分らんが牧野宗八心配で堪りません、兎も角も瀧本又三郎を連れて將監殿屋敷へ罷り出でると嚴しく丁重に扱ひ座敷へ通し將『扨て今日御身を招いたは餘の儀でない、夫れなる瀧本又三郎に少々申附けたい儀があつて招いたのである、又三郎、其方は毎夜々々天守番を致す由だが、誠に奇特の事に心得る、就ては今日殿樣の御意として是々斯々此方思ふ仔細あつて御身を推擧いたした、今晩五重の天守の絶頂へ罷り越して宿直を致すやう、聞て居りました、牧野宗八吃驚して、御家老に聞へないやうに瀧本の袂を引いて、宗『御斷り申しなさい、五重のお天守へ昇れば必ず命はないと云ふこと、又三郎は承知だから御辭退をするだらうと思ふと、兩手を仕へて 又『誠に恐れ入りましてございます、若年者の私、且つ身分輕き者に此の大役を仰せ付けられ有難き仕合せ、身命に從ひ今晩確と宿直仕まつりまする』アツ、止めるも肯がないで遂にお受をして了つた、飛んだ事になつたと、牧野宗八は心配をして居ります 將『ウム、能くこそお受を致した、怠なく宿直を勤める上は又宜しなに取計らひ遣はす所もある』又『有難う存じます』夫から退出部屋へ立戻つて來ると牧野宗八 宗『何故お受けをした、殊に人の噂にて、五重の天守には怪しき事があると云ふ事は知つて居るだらう、知りつゝお受けをするといふのは飛んだ事だ必ず間違ひが出來る』又『イエナニ間違ひのある氣支はございませんから御心配なさるな常人平氣で他で心配するやうなものではない』日の暮るゝのを待つて 又『夫れでは行つて參ります』と云つて出掛けまして、一番下の千疊敷から、二重目へ掛つて來ると建築をしてから以來、誰も昇つた事のないと云ふ位でございますから、どうも蜘蛛の巢などが一杯に張り詰て、臭い事一通りでない、併し豫て公が御造營なすつただけあつて、固より至れり盡せり、立派に出來上つてるには違ひありませんが、モウ黴などは蒸切れて居る有樣、小さな燈火を持つて昇つて行くが此の燈火はホンの前だけ見すだけで、向ふが判然と分らない、スルとバツと前へ飛掛つて來るものがある、ヒラリ體を躱して彼方へ飛違ふを見ると大きな蝙蝠だ、ア、蝙蝠だつたか、暗い所へ燈火を持つて這入つて來たから、彼が燈火を取りに來たのだ、アハ……此んな物を大方妖怪變化と思つて、他人は驚くのであらうと構はず進んで行く、バツ、バツと又飛び附いて來るヒラリ〳〵と體を轉しつ三重へ上り、何事もなく四重目へ來て見ると俄に、カラ〳〵〳〵ズシーンと家鳴震動を致し宛然地震でも起つたかと思ふやうな有樣ウム、扨て之は只事でない、立留つて四邊の樣子を伺つて居ると、バラ〳〵バラ〳〵石でも降つて來るやうな樣子、燈火を前へ置いてドツカリ著座をした宮本の瀧本又三郎、ハ、ア扨ては狐狸の類ひだな、五百年過ぎた狐を白狐と云ひ、猫が五百年過ぎるとカシヤと變じる、左樣な變化になれば能く風を起し雨を降らすと云ふ事を、物の本にも掻間見たが、カシヤにあらざれば老狐に違ひない、氣を沈着け膽を練り再び立つて愈五重の天守絶頂へ昇つて來る。



染物洗張師 清水堂 京城府旭町三丁目七百四番

優雅拔群にして最も專門なる みのや京染店の御婦御衣被染

天下一品 京染 にや 京城本町三

八月十九日

（舊曆七月十六日） 金曜日 ▲甲寅 ▲七赤 ▲先負 ▲牛宿 ▲破

▼七赤▲覺悟を搦まさる、且手を出せば損すべく新しき事見合
▼八白▲諸事圓滑に解決する日 大膽なる行動に出づるも利あり
▼九紫▲兎角落着きを缺ぎ易く 折角の幸運を取逃す事あり被慎
▼一白▲向上發展の日進むほど利得を占む共同的事業は殊更妙
▼二黑▲柔順にして有力な後援を得正直にして常業大繁昌の日
▼三碧▲僻の思ひ違ひから損失を招く日愼みの一字を守るが利
▼四綠▲痛し痒しの事に出過ふ日なるも辛抱すれば結局に有利
▼五黃▲内外共願調諸願必ず成就すべく女子の獨立を圖るも妙
▼六白▲内に能く納まれば外に恐るべきものなく至極都合よき日

八月二十日

（舊曆七月十七日） ▲土曜日 ▲乙卯 ▲六白 ▲佛滅 ▲女宿 ▲危

▼六白▲變化多く進み過ぎ退き過ぎては後悔する日愼みを要す
▼七赤▲穩かなれ慮らずば八分の利益あり開店旅行結婚其他吉
▼八白▲利得と人望を併せ得べく女子は出世の端緖にのりつく
▼九紫▲逆運の日活氣に乘じて進すれば失敗あり新事は見合
▼一白▲吉事續出の日他人の世話事を除く外は凡て何事も大吉
▼二黑▲居ながらにして功成るの日取引に吉但し散財を識な
▼三碧▲諸事徒勞に歸し易く迷惑なる事ある日新計畫控目吉
▼四綠▲周圍何彼と騷々しく利に疎き日時も心安からなず
▼五黃▲瑞兆當に顯り諸事大體の日養子婚女を定むるも亦吉

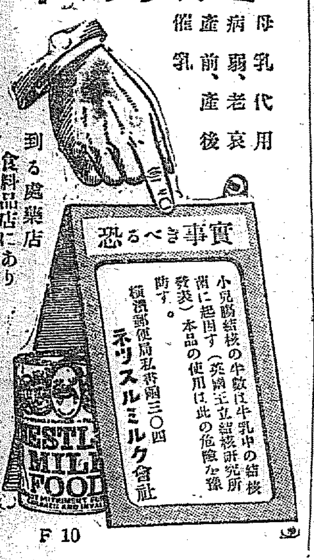
只管聖代を謳歌する 大田署管内の民

は誤謬したる爲め一時其の思想只管家定を願み聖代を謳歌する ……惡化したるの感ありたるも其後至れる事は尤も…… 内藤氏より其の意見の一端を答へ置きたれば 聽ては具體的事實にあらざるも漸次其域に進みつ…… 未だ改善せられたりと言ふべき【釜山】在監中なりし松井松法其他氏釜山理事官として在任當十分釜山に入港投錨中なり……向け出港せり

ネッスルミルクフード

母乳代用 病弱、老衰 產前、產後 催乳

到る處藥店食料品店にあり



恐るべき實事

小兒肺結核の半數は牛乳中の結核菌に起因す（英國王立結核研究所發表）本品の使用は此の危險を豫防す。

横濱郵便局私書函三〇四 ネッスルミルク會社

F 10

臺灣總督府專賣局方劑
朝鮮總督府法定消毒劑
消毒防臭劑

登錄商標

後藤デシン

殺菌力の偉大なると防臭力の確實なるは諸官廳の御試驗に依り明瞭にして本劑の最も誇りとする處であります

後藤デシンは至る處信用のある藥店に販賣してゐます

LACTOSTASE

整腸常備藥

ラクトスターゼ

本劑はメチニコッフ博士の腸内寄生菌説以來有名となれる乳酸菌製劑にして、同博士の以て最良となせる眞正ブルガリアン乳酸菌を生活狀態に於て保有す、本劑は腸管内の異常醗酵乃至腐敗を防止し、膵汁並に腸液の分泌機能を調節し蛋白質の消化吸收を佳良ならしむる作用あるを以て腸疾豫防及治療劑として多數實驗醫家に賞用せらる。

注意 藥效確實なる乳酸菌製劑は三共發賣のラクトスターゼに限る、類似品あり、乞御留意。

粉末、錠劑の各種あり 各地有名藥舖にて販賣す。文獻集あり附呈す

本社 東京日本橋區室町
出張所 大阪淡路町・臺北府後街

三共株式會社

病後恢復期に卓効ある!!

栗本醫學博士 齋藤醫學博士 堺山醫學博士 土肥醫學博士 諏訪醫學博士 堅井醫學博士 實驗御推奬

正しき補血强壯增進劑

ブルトーゼ

本劑の効用

ブルトーゼは造血要素として人體肝臓中に含まるゝ鐵蛋白鹽と同性同態なるが故に吸收同化容易にして何等副作用無く能く造血機能を亢進し赤血球を增加し新陳代謝を旺盛ならしめ全身營養上に强力なる作用を呈す、故に本劑服用後は著しく食慾が增進し體量を增加し精力を旺盛ならしめ皮膚の色澤を良くす是實に醫學諸大家が舉つて補血强壯劑中の第一位として推奬せらるゝ所以なり。本劑は急性慢性貧血病、萎黃病、腺病及肺結核其他諸疾患より來る營養不良症に衰弱、神經衰弱、病後、姙婦授乳婦產後、虛弱癈疾者等に顯著なる効を奏す。

種類及賣價

補血强壯增進劑 ブルトーゼ	小瓶金[illegible]	大瓶金[illegible]
神經性疾患特効劑 アルゼンブルトーゼ	小瓶金[illegible]	大瓶金[illegible]
腺病質特効劑 ヨードブルトーゼ	小瓶金[illegible]	大瓶金[illegible]
呼吸器系疾患特効劑 グアヤコールブルトーゼ	小瓶金[illegible]	大瓶金[illegible]
健胃補血强壯劑 キナブルトーゼ	小瓶金[illegible]	大瓶金[illegible]

各種共小瓶二五〇グラム入大瓶五〇〇グラム入
本劑は各地藥店に販賣す萬一品切の節は直接本舖へ御注文を乞ふ

說明書實驗錄進呈

發賣元 藤澤友吉商店

大阪市東區道修町 東京市日本橋區本町 京城府西小門通
振替大阪 七五四 振替東京 八五九 振替京城 八九五

水車唐黍 製造販賣
京城本町二丁目 電話本局一四七
元祖 飯田工場

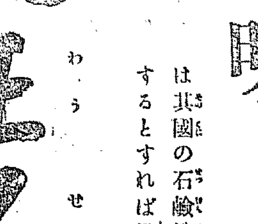
滋養と凉味一杯

カルピス

御意のまゝ
暖冷も
濃淡も

風味清凉 身體を慰め
滋養富豊 骨骼を養ふ
斬新の清凉飲料也 美味の藥餌也

株式會社 祭原商店
大阪市東區安土町



文明は其國の石鹸消費量に比例するとすれば最も衛生的な
御愛用の多寡は直ちに御家庭に於ける衛生思想の尺度でなければなりません

品質本位

花王石鹸

中村工兵大佐入城

…關東軍司令部附なりし工兵大佐中村…は今回朝鮮軍司令部附として大邱に移りたる…

電力供給問題陳情

…電力供給問題に就き…十八日午前…四氏同時に岡本電氣課長を…訪問し具狀する所ありたるが…

京城商界の考察

貨物を着より觀たる

京城商況の盛否は物貨集散の狀況にて觀るは云ふ迄もなき所なるを以て今南大門驛に於ける

貨物集散の 狀況を觀て京城商況の一般を察せんに大正二三年頃に於ける發着數量は二十萬噸以外に過ぎざりしが爾來市勢の膨脹と戰後經濟界の好況とにより市內商人の取引次第に增大せる爲め逐年其の數を增加し大正八年度に至りては四十二萬一千餘噸の發着を見るに至りたり今左に大正二年以降同驛に於ける貨物集散の狀況を表示すべし

年次	發送	到着	計
大正二年	三九	一六五	二〇四
同三年	三七	一四二	一七九
同四年	九七	一四九	二四七
同五年	五三	一八一	二三五
同六年	七三	一九二	二六五
同七年	一〇二	二〇二	三〇五
同八年	一三三	二八七	四二一
同九年	七八	二三九	三一六

（備考本表の年次は會計年度なり單位千噸）

仍て大正八年は財界未曾有の好況時にして市況亦極度の膨脹を呈したる爲め增加殊に著しきものありしも大正九年度に至り

財界の反動 に遭ひ漸く不況に陷るに及び前年に比し十萬餘噸の激減を告ぐるに至りたりされど之れを大正七年度の發着數に比するときは尙ほ一萬二千餘噸の增加を示し居れりこれ畢竟好況時代の惰力ありしに因るものと見るべく先約品の發着相當のものありしなど其の主因を爲せるが如し然るに大正十年に入り發着貨物の減退漸次其の度を加へ來れるは不況漸く久しく

諸商品の取 引永く不振の狀態を持續し居れる結果に外ならず卽ち本年一月以降七月に至る發着貨物數は十六萬三千八百八十六屯にして昨年同期間に比し二割四步強を減退し更に一昨年の同期に比するときは二割五步弱の減少を示すに至りたり且つ近時大量貨物の發着少く小口物漸增の傾向あるが如き以て仕入取引の狀況を察知するに足るものあらん

穀信株賣出

京取仲買組合にて

京株穀物信託株式會社發起人會は既報の如く十七日南米倉町穀物組合に開催せるが株數の少きと一般に廣く株を割當てる目的にて當初假定せる發起人の持株は五百株なりしを發起人及び穀物組合會員共に二百株平均とせり一般賣放株の割當は來る二十三日決定すべく引續き公募株二千の賣出をなす筈にて京株現物仲買組合より最低プレミヤム五圓にて賣出をなすべしと而して創立事務は南大門通に移轉して開始し居れり創立委員として左の諸氏を選任したり

創立委員長天日常二郞委員田中安吉高井民三郞今村伊三郞小山庄三執行孫太郞祖父江鈴木勝次郞

京城綿絲近狀

綿布は昨今需要期に近づきつゝあるも一般に在荷薄の狀態なるが先般來より潛在しつゝありたる買氣は大阪引締りに伴れて買氣擡頭し來り買入は實行閑散なるも仲買取引は漸次增加し來り

東拓移民方針

東京電報は東拓會社第二種移住民を本月下旬又は九月上旬に於て千戶募集の趣を傳へ來れるが右に關し同社京城支店當局は曰く東拓會社の移民計畫は同社京城支店にて之が計畫を立案し本店の承認を得ることゝなり居る恐らく誤電にはあらざるか假りに本店にて右の案件を決定せりとするも移住民の募集分配は京城支店にてなす關係上かゝる重要案件に對し何等の通知なき筈はなし隨て本年募集の移住民は依然三百五十戶にて目下募集中のものなり尙本年より第一種一町步內作農（五町步地主農）と改めたるに非すして第一種は當分募集をなさゞるなりと

▲銷夏漫語▲

鄭相殷氏（漢城銀行專務）曰く

私は曾て避暑に出かけたことはないが本年は納涼列車で元山に行き海水浴をし曾て味つた事のない涼味を感じた昨今株式の暴騰したのは事業界の旺んになつた爲めではなく金融緩漫に據る金利低下の影響だと思ひます經濟界の現狀は未だ半病人の狀態で全治して居ない然るに此の半病人が異狀の活動をすると病氣は再び逆戾りして一層重態に陷る慮がある昨今の如く株式暴騰し投機熱が勃興に就ては殊に此の感を深くする吾々金融業者は此の際一層警戒の必要がある

米界所見

天日常次郞氏談

湖南線地方の米作狀況を視察して此程歸城せる天日常次郞氏の談に曰く

（…［illegible］…）

茲二三日は相當に商談ありて明場は底强保合機を見て上伸びんとする氣配あり今日の相場は左の如く唱へ居れり

▲三エー二百九十六圓▲金剛山三印二百四十七圓▲金貨二百三十七圓▲金剛二百三十五圓▲三星二百三十圓▲細布天十三ポンド十四圓三十三錢▲綛鳥十二圓十錢（綿金巾）▲遼東十三圓三十錢▲綿糸▲扇面十六手百十五圓▲十手百二十三圓

京城工場現況

京城商業會議所の最近調査に係る京城に於ける一日五人以上の職工を使役する京城工場類別統計表に依れば工場數五百十三、工場坪數四萬六千七百六十一坪、資本金千九百三十四萬八千九百九十二圓、就業者數內地人男千二百三十六人女二百五十三人計千四百八十九人、朝鮮人男千二百二十六人、外國人男百四十九人女三十五人計百八十四人男九人女三十五人計三千十五人女千九百七十六人計三千百六十四人總計四千六百七十四人就業日數十三萬二千二百七十九日生產品價額四千百三十一萬三千上合計二千四百十八人女七二千二石油二、瓦斯五、蒸汽一六、窯瓦三二、瓦斯五、蒸汽一六、窯業三千三千二十四個機關數電力一二三石油二…馬力、電力四百十七萬二千二十五馬力、瓦斯八十一馬力、蒸汽六百七十五馬力、石油二十二馬力二百八十五馬力なり

土用涸れの爲め一般に縮の株張りは餘りよくないが其後の照り込みが中分なかつたので一部には水不足を唱へて居る地方もあるが湖南線方面は一般に豐作を豫想されて居る在米は少くない農家は安値にて賣惜みて賣出さぬと觀られて居たが昨今の如く畢竟値段が引返しても賣出さぬのを見ると或は大部分持米は手放されて居るのではないかと思はれる湖南線各驛には殆ど米の堆積されたるを觀ない米價の前途觀に就ては安値に馴れて一般に悲觀されたことを考慮に加へる必要がある

殖銀株主總會

殖産銀行第六回定時株主總會は既報の如く十九日午前十時より長谷川町銀行集會所に於て開催し營業報告其他の承認及利益金分配案の決議理事一名增員並に其候補者の選舉をなすべし

揮發油引下

揮發油は從來比較的高値を保ち來れるも最近內自動車界の不振其他の關係上大勢相場と關係なく地方的に一圓方引下の下に二三日前より一箱に付一圓方引下げ十六圓八十錢を唱ふるに至れり

金剛砂

天然氷會社と天然氷倉庫會社の社長である志岐信太郞君の口癖として事業は國家的ですここ二口目には云ふ▲如何にも同氏關係事業は朝鮮事業界に貢獻する所は少くない國家的を主張し得る性質のものである▲同君の秘書の木下君はなかく官僚が巧いので適役である▲某銀行の重役は決して行員に株式の强欲を銀行の顧客に語らしめないと云ふて居る▲其の譯は儲ければいゝが萬一失敗した時には銀行も迷惑顧客も迷惑だからだこのことである▲至極御尤もであるが其配下にはナカく強弱の好きな方が居る

株式（十八日）

現株市場出來値

銘柄		前場	後場
京取	寄	一三〇、二三〇	一三〇
仁取	寄	一〇八、〇〇	一〇九、〇
京電	寄	二五、〇〇	二五、〇〇
朝鮮	寄	四〇、〇〇	四〇、〇〇
殖銀	寄	三三、〇〇	三三、〇〇
東拓	寄	[illegible]	[illegible]
韓銀	寄	[illegible]	[illegible]
朝紡	寄	[illegible]	[illegible]
滿毛	寄	[illegible]	[illegible]
京電	寄	[illegible]	[illegible]
電興	寄	[illegible]	[illegible]
朝紙	寄	[illegible]	[illegible]
朝郵	寄	[illegible]	[illegible]
殖鐵	寄	[illegible]	[illegible]
中鐵	寄	[illegible]	[illegible]
滿鐵	寄	[illegible]	[illegible]

（乙の部・短期取引）

東京現株

銘柄	十八日	十七日
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]
東拓新	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]
日銀	[illegible]	[illegible]
東株新	[illegible]	[illegible]
東取新	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	十八日前場寄付	十七日後場大引
大株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]
上取	[illegible]	[illegible]

安京株式

十七日後場　安取當　五三、二〇　寄付　五一、三〇　大引
十八日前場　安取先　四七、〇〇　寄付　四五、七〇　大引

果然好轉

賣方崩れ出す

京取に對する群衆賈は全然衰へたといふ譯ではないが一時の如き熾烈さも無くなり一方に川崎一派に依りて盛んに買はれ寄付は相當相場が堅調となる…川崎一派が京取の百圓內外あるべきを確信して賣込みながら百十九圓九十錢に喰止められて買埋めの機會を失ひ賣方の內兜を見透されたる形となりて…

▲短期の引高を眺めて旗尾の煎れを添へ一氣四圓五十錢と飛び八十高…四圓十錢高…

京取の强味

京取が川崎一派に依りて買過ぎを喧されつゝあるに拘らず二十四五圓の高値を示すは何か原因であるか…

安取は不勢

安取は安東場五十七圓九十錢より高値は天井として頭打ちの商狀となりたるが…

京取の手口

今週

賣方　池田二七〇▲田中一〇▲大島六二〇▲川崎二三五〇▲新一〇▲方六〇▲非口四二〇▲南一…

大新先高見越

大新は久しく大保合の裡に氣乘薄の場面を續けて居たが今朝來滅地入電の引締りを移して買氣立ち短期三十四圓より三圓五十錢より七圓五十錢に伸び前引…

米況（十八日）

仁川正米

前場跡安

前日來の照込みにて幾分軟氣の場に臨み…

後場反撥

…

玄人筋の意見

現在の賣方は天實…

買方の利拔き

…

京城正米

廻米引續き多く十七日は二千五百餘叺の到着なるが其大部は中白鮮白…

米限餘聞

…

定期大豆

南大門廻穀

大豆　小麥

仁川正米　釜山正米　群山正米　大邱正米

大阪期米　東京期米　兵庫期米　下關期米　各地期米　大阪三品

北島仲買店　仁川米豆取引所仲買人　電話長三八番・三六六番　本店電話一七〇二番

吉金仲買店　仁川米豆取引所仲買人　電話長八二番・八五一番

桑野仲買店　仁川府海岸町三丁目　電話三九番

株少ミ仲買店

⦿仲買店　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町　電話二八・二八三

有井仲買店　仁川米豆取引所仲買人　電話二三六・二三四番

懸賞金拾萬圓

一定不變　利殖法講義錄

事業發展　講義完成　會員大募集　本月卅日迄に入會金免
本會の講義錄の一頁は萬金に價す　論より證據來り眞價を認よ

金滿家養成

本會の目的は講義錄を賣に非ず金滿家養成に有り
著者本會長永島千代吉　利殖歲額金貳億圓　資料　安全日本銀行確實郵便貯金同樣利廻り年三割以上

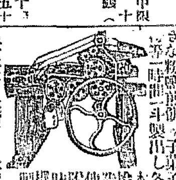
はいとり粉

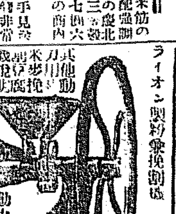
蠅、蚊、蚤、蟻に　園藝の驅虫に　牛馬の寄生虫に　油虫、南京虫に
東京本町　田村商店

腦病良藥　レーベン

レーベンは當學博士岡田先生を初め醫學界大家の賞讃を博したる腦病神經衰弱ヒステリー腦病の良劑なり
一度レーベンを試みたる人は永久レーベンを賞用せらる
先づ其一回乃至二回を購ひし人は次に必ず其最も大なるものを求めらる何故か
價　五十錢（試用ガ）　一圓、二圓、三圓、五圓五十錢の五種あり
無代進呈　ハガキで申込次第本劑發見者當特醫學士著腦神經衰弱療法の及其他增田博士著…直ちに送呈す
本舖　大阪安土町　中南定太郞　弘濟藥院

電燈發電機





自轉車用電燈發電機　動力用各種米搗機　製粉機　京城本町　山田鐵工所

ライオン製粉機製造

そこひ

そこひ目で永年困る人は如何程重症と雖も必ず治る
京城府南大門町三番地　横川博齊
特許鍼士　岩田仙宗

値上廣告

來る八月廿日より左の通り値上げ仕り候也
大樽壹挺　金四圓也
半樽壹挺　金貳圓也
壹升瓶詰一箱二付　金貳圓也
小賣壹升二付　金拾錢也
大正十年八月　仁川酒造組合

酒井婦人病院

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏通）　入院隨意　電話一六〇〇番　酒井一郞

ゴム靴

TRADE MARK
靴底實天下無敵　ゴム
神戶市元町六丁目　合資會社　神戶屋ゴム製作所　販賣部

浮草 (30)

入江新八 作 / 早崎 畫

新らしき知人(七)

宮崎は道代を伴れて、カッフエを出て、銀座を步いてゐたが、浮かぬ顏をして默つてゐた。

「あなた、何うかなすつて?」

と道代は訊いた。

「此から、日比谷公園の方へ行かう。斯う人ごみの中ぢやしみ〲話をするわけにも行かない……」

「參りませう。私まだ日比谷公園を知らないのですわ。」

「日比谷公園も知らない中に、もうあんな人達を知つてる貴女は油斷がならないね。」

「だつて……惡い意味に取つちやいけないわ。貴郎……私の今後の爲に、あの方達を知つてゐることは好いことぢやありませんか。貴郎だつて、文學のことを研究してゐらつしやるのでせう。あの方達とお近附きになることも、好いことぢやなくつて?」

「僕は文學をやつても、彼の人達のやつてゐるやうな文學に行かうとは思つてゐない。僕はデカダンスは嫌ひなんだから。」

「さうですか……」

「貴女は、此れから、あの河村駿一郎などゝいふ人と交際する積りなの? 秋子の弟子にでもなるつもりかね?」

「何うすれば好いんですか。私には一つも分りませんわ。だから貴郎に御相談しやうと思つてゐるのに、貴郎は些とも私のことをかまつて下さらないんですもの……私は、河村さんが親切に仰しやつて下さるんだから、河村さんにお願ひして、何うにか自分の方針を決めたいと思つてゐますわ……」

斯う話し乍ら、公園の近くまで彼等は步いてきた。それから、ぶら〱と園内を散步しながら彼等はいろ〱なことを話した。宮崎は河村に道代を交際はせることを好まないので、それを阻止するやうに說いた。本當に文學がやりたいのなら、宮崎の崇拜してゐるKといふ小說家の大家に道代を紹介して、其人の敎へを受けた方が好いといふやうに話した。それにしても目下の急務である道代の生活が、食て行くことに安定されることを第一に考へなければならないと話した。道代も、そのことが何より心配になつた。

「僕が何うにかしやう。けれども、そういふことが皆子に分ると非常に困るから、決して、あなたが私の家へきちやいけないよ。」

と云つた。

「貴郎は大變奥さんを恐れてゐらつしやるのね」

道代は宮崎が妻のことを云つて始終妻に氣兼ねしてゐる宮崎を見ると、何だか反抗心が起つて來る。一種の嫉妬心のやうな、敵愾心のやうな、皆子を敵視する心が強まつて來る。で、宮崎を皆子から引離して皆子が宮崎を壓迫してゐる力を跳返してやらうといふやうな氣が彼女の胸に湧いて來た。それで宮崎が、もう今夜は遲いから、此所でお別れしやうといふのを、また無理に宿屋へ引張つて來て、十一時過ぎまでも宮崎を歸さなかつた。宮崎が歸つて暫くすると、河村が道代の室へやつて來た。彼は大分醉つてゐるやうだつた。

「淺井さん、今夜、僕はあなたの爲に、大分皆なから恥を搔かされましたよ。」

「まあ、何う遊ばして……」

と道代は云つた。そして河村を迎へた。其室は今客が歸つたといふやうに何かが、取り散されてゐた。

「今夜一緒に貴女と來てゐた男はあなたの何んなんですね。あんな男があるのに、君も隨分お人好しだつて揶揄されたんです。」

「あの方ですか、何んでもないのです。」

と道代は大膽にさり氣なく云つた。道代は、何うして斯う自分が大膽になつたのだらうと自分を怪しむ位だつた。道代は名聲の顯れてゐる河村を、もう少しも恐れてはゐなかつた。彼に馴れ親しんだ華やかな表情をして男の心を迎へてゐた。

皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二五八番

京城實業藥劑師會製 ノ石油乳劑ハ蠅、蚊、蚤ニ最モ有効ナリ 傳染病豫防ニ 京城明治町二 電話二五二番

牧野技術射藝 內科 小兒科 皮膚花柳科 永樂醫院 院長 今村純義 京城永樂町二ノ七 西本願寺前 電話一九四四番

短歌 (矢橋小花選)

草まくら 松井まなぶ

故里の名もなき山に閑古鳥聞きつゝ思傾けにけり

久にしてあぶるものぞと火の國の石のいでゆに遊ひ遊す

夜さなれば我家をめぐる草むらの深みにしげしこほろぎの聲

いつしかも吻も生れぬ故里の緣側に座し指折りてみぬ

人生の休み茶屋に來てこほろぎの聲か聞きしか嬉しかりけり

われ來ぬと懇りなる眼にうちみやる背ひさすらの故里の道

秋田 耿生

高原の驛のまよなか汽車ぬちにしみ〲と聞く虫の聲かな

曼珠沙華咲ぐしりせる停車場の倉庫の裏に火と燃えて咲く

萱野原の靜もりは深し天づたふ眞昼の明るさの限りあらずも

いや高き夏草に泣けば白雲の肌極りて動くとも見ゆ

天づたふ眞日にむかひて草に立ち物げいはず涙こぼさせつゝ

平野 稍伴

夜の深み星のきらめき見入る時死もいさよしと思ひき我は

片山 秋子

いとし君を思ひつゝ明す短か夜の鷄ごゑきかぬ

戀初の錢しあらねば火影は皆さの深み極み無く見ゆれ

杉田 曉麺

あだ戀むと窓を閉して窓かけの紐なまさぐり君と相るぬ

批びなむのすみになしやりて悲しき事のみ思ふ朝かな

のろけしの批やさ今宵も涙しぬ

畑 倍人

一人の君か寝はれてより

エーと云ひ又ビーと云ひシーと云ふ此の子等何の花にたとへむ

虹溶はる路

鳳仙花その紅の花びらさわが思ふ子の唇と何れぞ

野下 潤

高らかに盲目の人が唄うたふこの街角の人だかりにも

いれがたみ我が立ちよりし合歡の木の梢にさびし昨れの月

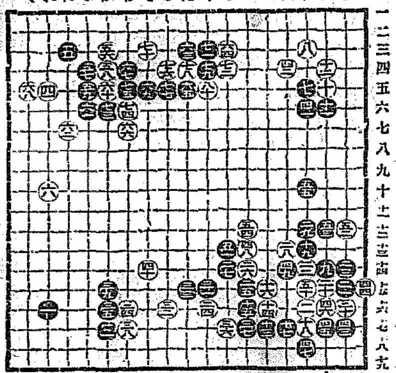
盲腸炎 盲腸炎に世界無比の盲腸湯あり一日にして苦痛を去り必ず全治調合藥なり 京城府南大門外御成町五三 取次電話一九〇一 伽耍堂

讀者ちやん

▲私は京城某銀行行員でまた獨身者です、府内南山町附近で可成二階位で閑靜な家族的下宿御紹介致したいのであります(京城郵便局私書函第二十二號)▲私は二年程前から頭に丁度ふけ株のものが非常に澤山出來困ります、ハクセンといふ病だと申して藥を求めましたので隨分うらく塗布して見ましたが一向全治せず非常にかゆみが甚ゐますので誠に困つて居りますどなたか療法御存じのお方がございましたら御手數ですが御敎へ下さい(困翠生)▲過酸化水素化粧水と乾性マッサージクリームの本舗は京城で賣つて居る所がありますか有りましたら店の名と價とをお知らせ下さい(よし子)▲年齢試拾歲前後の方にて衛生に來て下さる方は有りませんでせうか若學又は漢語學校へ通ふんで其時間は夜分に及びません御希望の方は夜分七時以後に本人御來談下さい『保健所』(太平通二丁目高田商會野村生)▲養鷄道樂息子君にお答申す委細承致度り左記へ住所御知せ下され度(平南中原永柴、八木街道郡市上候)▲私は手にイボが出来て困つてゐますのですが簡單に自宅で出來る療法で御存じの方は御教示の程お願ひ致します(困り生)

新局碁戰 (四)

三段 先々先 山 柴山文吾氏
三段 先番 平 平澤氏



●六十一よの六 ○六十二たの七 ●六十三ぬの三 ○六十四ちの三 ●六十五ぬの五 ○六十六わの七 ●六十七れの四

○六十八その五 ●六十九なの五 ○七十なの三 ●七十一りの三 ○七十二ちの四 ●七十三かの六 ○七十四わの六

●七十五わの五 ○七十六るの四 ●七十七るの五 ○七十八ぬの四 ●七十九りの四 ○八十りの五

自然の黒髪の色艶に染まる
あからお毛染
スイナ
ナイスの五大特長
▲二十分で能く染る
▲永く保ち褪ず剥げず
▲枕に汚點つかず
▲決て毛の艶を増め
▲用方至極手輕なり
本舗 吉田平商會

賀化病院
京城明治町一丁目 電話二四番
內科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り施療す
醫學博士 古城憲治

胃腸に ゴルフを 各地藥店にあり
美味爽快の
見よ! 其寬價を!
惡疫豫防に、過飲、過食に消化不良に、胃腸の特藥に
定價 廿五錢 七十錢 一圓 一圓五十錢
東京市 泰昌製藥株式會社 振替東京二七五七七番

お化粧の順序
カテイ石鹸 クラブ洗粉 クラブゼリー クラブ白粉 クラブ煉紅 クラブ粉白粉 美人
美しい方は皆なクラブ白粉の愛用者
クラブ白粉
貴女のお顏はまだ〱美しくなります
をお用ひになれば

レート化粧料本舗創製
フード石鹸
高貴な天然香料と最上の原料を惜氣なく配合した
美粧料としてあらゆる製品を完成せるレート化粧料本舗が多年の經驗と最新の學理との結晶たる理想的化粧石鹸はこれ
垢ぬけして美しくなる
フード石鹸を手にした瞬間、その泡立ち細かく、馥郁たる香氣に甦へるやうな爽快さを覺える。これを全身に泡立たせて、サッと流せば、滿身の垢を流し盡して、心地よく垢ぬけして美しくなる。
硬過ぎず。崩れず。香ひも變らず。最後まで。最初と同樣に使へるのは本品の誇りとする所。
レート白粉本舗
東京・大阪 平尾賛平商店

10,8,101

汽車時刻

大正十年六月一日改正

京釜線 / 京義線 / 湖南線 / 馬山線 / 京仁線

[illegible]